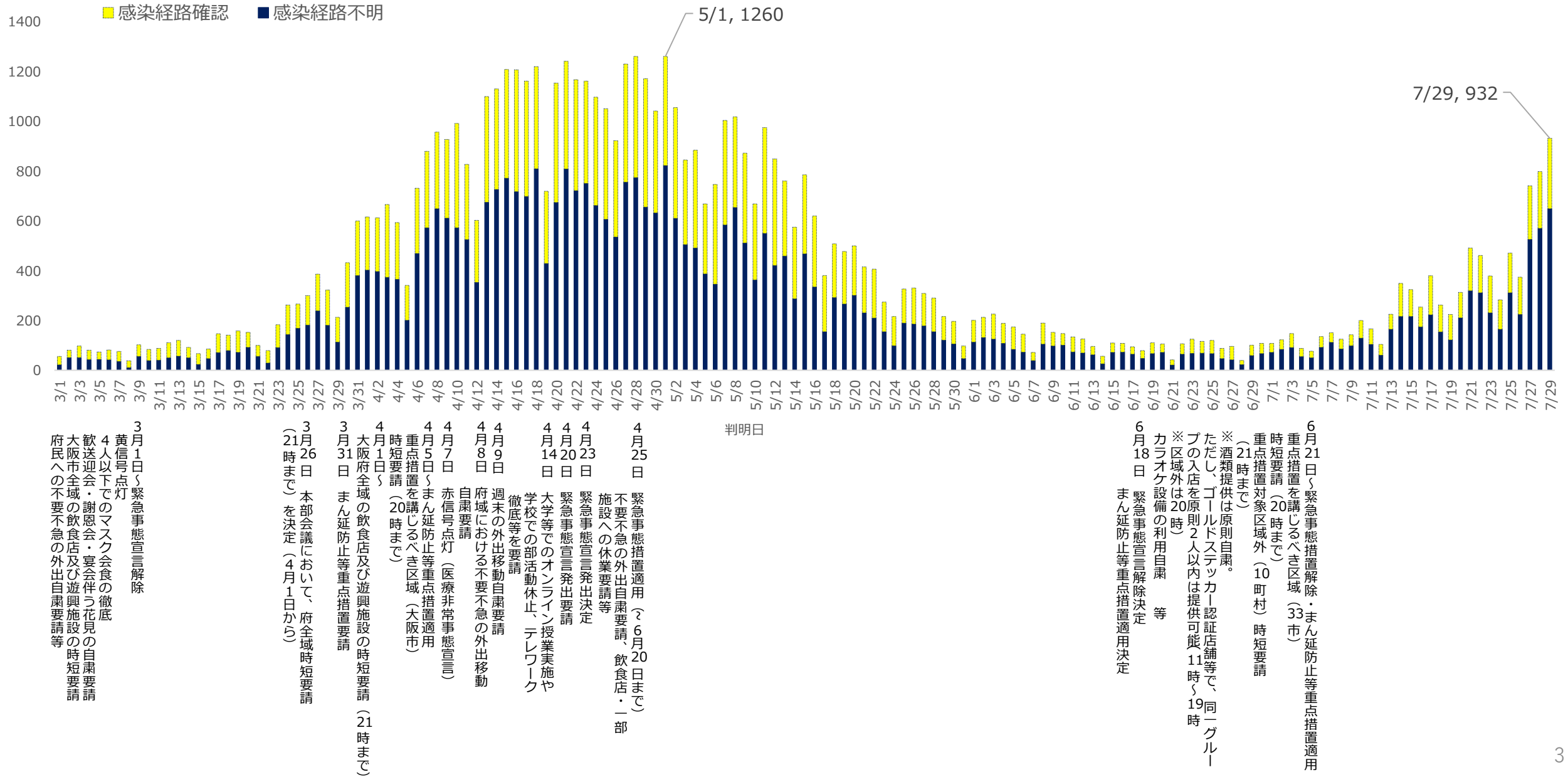


- | | | |
|---|-------------------|--------|
| 1 | 陽性者数等の推移 | P2~14 |
| 2 | 市内・市外の比較 | P15~18 |
| 3 | 年代・居住地別の比較 | P19~21 |
| 4 | 感染経路 | P22~24 |
| 5 | 感染エピソード | P25~31 |
| 6 | 感染・療養状況とワクチンの接種状況 | P32~41 |

1 陽性者数等の推移

陽性者数の推移

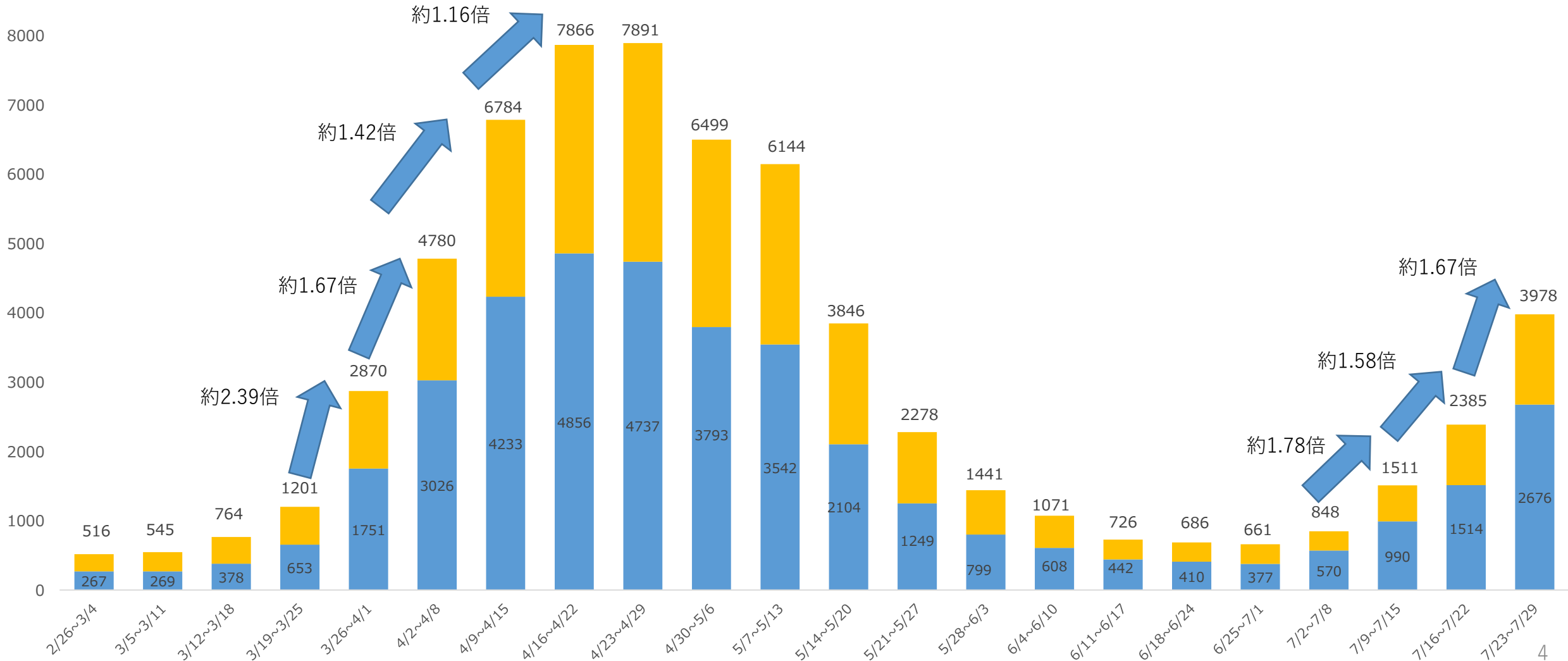


7日間毎の新規陽性者数

◆ 第四波の感染急拡大は、徐々に増加速度が遅くなっていったが、第五波の増加速度は緩まないまま急速度を維持。
(直近1週間で一日平均約568名)

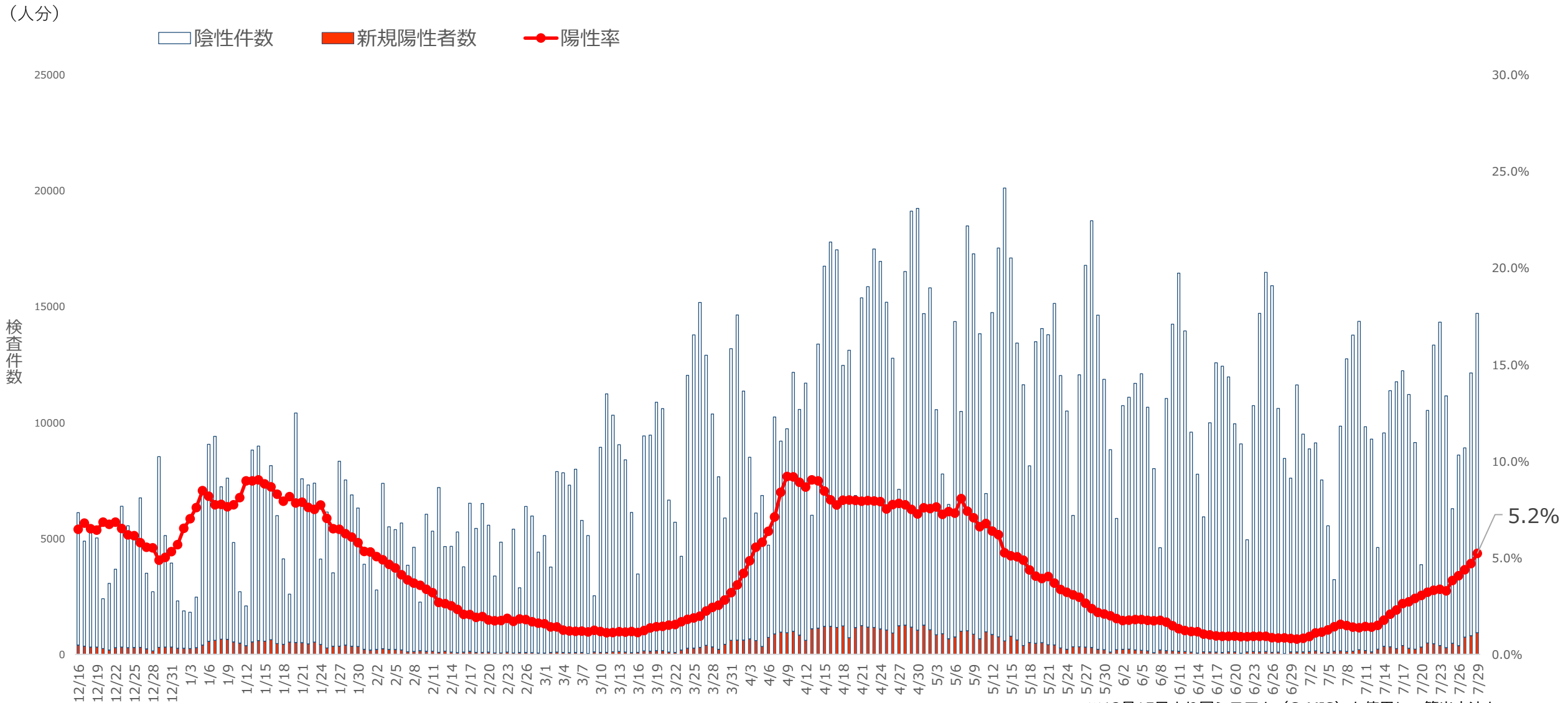
3/1~6/20を「第四波」、
6/21以降を「第五波」として分析

■ 感染経路不明 ■ 感染経路確認



検査件数と陽性率

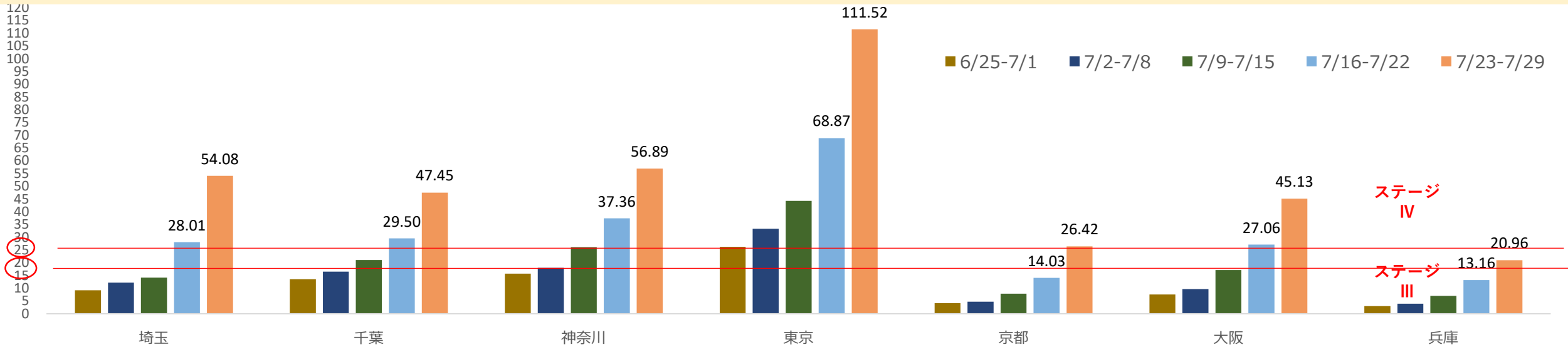
◆ 7月3日から増加。



※12月15日より国システム（G-MIS）を使用し、算出方法を「1週間の陽性者数 / 1週間の検体採取をした人数」に変更

各都道府県 週・人口10万人あたり新規陽性者数の状況

◆ 大阪府では、直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数は45.13人。東京の感染速度を上回る速度で感染が拡大。東京都は7月12日より緊急事態措置が適用されているが、依然、感染が急拡大。
 (東京における第四波と異なる点(例)緊急事態措置の内容、感染力がアルファ株より約1.5倍高いとされるデルタ株の置き換わり、(次ページ)や人流の減少幅(P8)等)



	感染状況 (直近1週間とその前1週間の比)			
	直近7/2~7/8 前週6/25~7/1	直近7/9~15 前週7/2~7/8	直近7/16~22 前週7/9~15	直近7/23~7/29 前週7/16~7/22
東京都	1.27倍	1.33倍	1.56倍	1.62倍
大阪府	1.28倍	1.78倍	1.58倍	1.67倍

【(参考) 東京都の主な要請内容】

	第四波の緊急事態措置【4/25~6/20】	第五波 緊急事態措置【7/12~】
飲食店等	○酒類・カラオケ提供 : 休業要請 ○酒類・カラオケ提供無 : 時短要請等 (20時)	○左記に同じ
商業施設、遊興施設等 (※)	○1000㎡超 : 休業要請 ○1000㎡以下 : 休業協力要請等	○1000㎡超 : 時短要請 (20時) ○1000㎡以下 : 時短協力要請等 (20時)

※上記以外に、施設種別等で時短要請等を実施

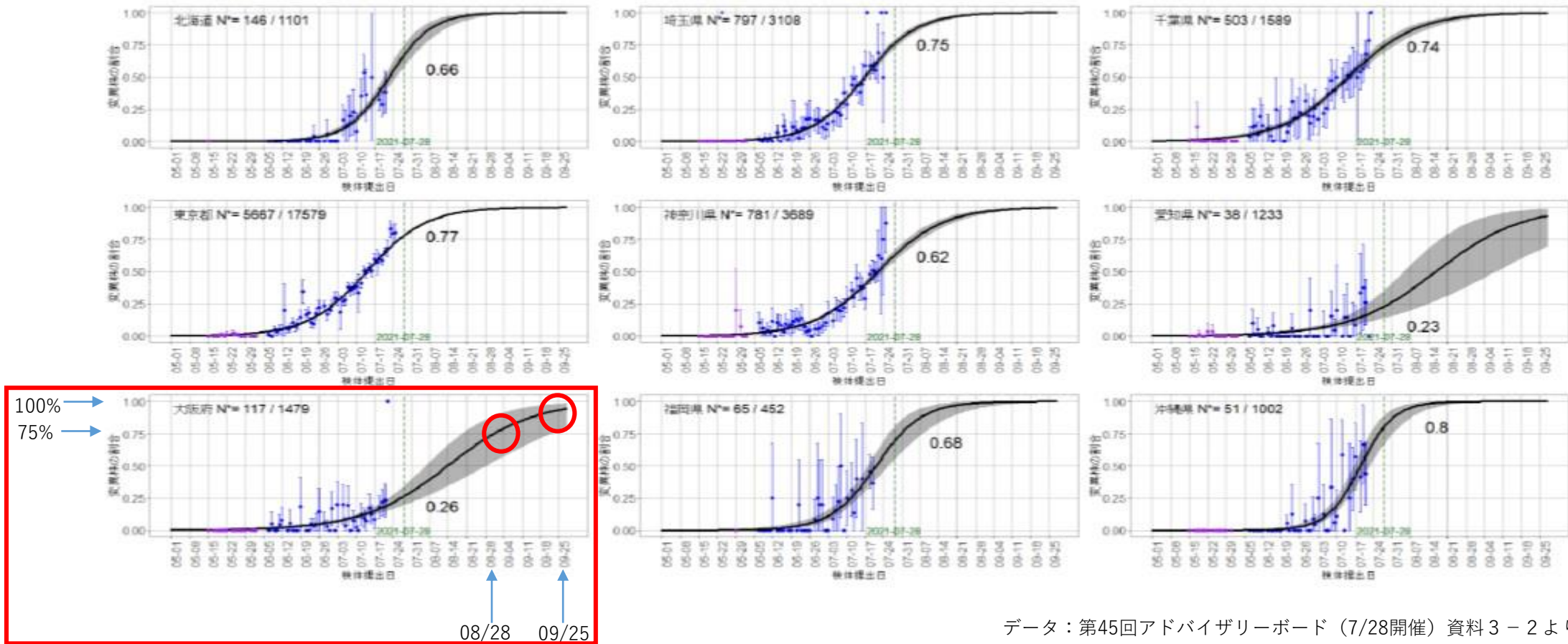
(参考) L452R変異株の置き換わりの状況 (アドバイザーボード資料より抜粋)

- ◆ 7月30日に緊急事態措置適用が延長又は新たに適用決定された埼玉県、千葉県、神奈川県、まん延防止等重点措置適用が決定された北海道、福岡県は、置き換わりが6割から8割まで進んでいる。
大阪府は現時点、3割弱であるが、8月末には7割前後となり、9月末にはほぼ置き換わるものと予測。



SARS-CoV-2陽性検体に占めるL452R変異の割合：7月26日時点 (一部都道府県抜粋)

*L452R変異検出数/変異株スクリーニング件数



データ：第45回アドバイザーボード (7/28開催) 資料3-2より抜粋

【参考】東京都の人流の変化

◆ 7月12日の緊急事態宣言による夜間滞留人口の減少幅は、第四波（4/25～6/20）の宣言によるそれと比べ2分の1以下にとどまり、ハイリスクな深夜帯（22～24時）の滞留人口は4週連続で減少しているものの、減少幅は小さく依然として高水準。（第45回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード資料3-4より記述を一部抜粋）



第45回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード資料3-4より抜粋。繁華街滞留人口は、NTTドコモが提供する「ドコモ地図ナビ」のオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報をNTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータを使用。主要繁華街にレジャー目的で移動・滞留したデータを抽出。

新規陽性者数及び前週同曜日増加比の推移

(上段：新規陽性者数 下段：前週同曜日比較)

◆ 第五波は、第四波とほぼ同じ速度で感染が拡大。
 (第四波は、まん延防止等重点措置適用により感染拡大を抑制したが、新規陽性者数は1日1000人を超過した状態が3週間継続。4月25日の緊急事態措置適用後、感染が収束。)

3月								7月							
日	月	火	水	木	金	土	週合計	日	月	火	水	木	金	土	週合計
14	15	16	17	18	19	20	週合計	4	5	6	7	8	9	10	週合計
92	67	86	147	141	158	153	844	88	78	136	151	125	143	200	921
(1.21)	(1.76)	(0.83)	(1.75)	(1.60)	(1.42)	(1.28)	(1.36)	(0.92)	(1.95)	(1.35)	(1.40)	(1.16)	(1.16)	(1.35)	(1.27)
21	22	23	24	25	26	27	週合計	11	12	13	14	15	16	17	週合計
100	79	183	262	266	300	386	1,576	167	105	225	349	324	254	380	1,804
(1.09)	(1.18)	(2.13)	(1.78)	(1.89)	(1.90)	(2.52)	(1.87)	(1.90)	(1.36)	(1.65)	(2.31)	(2.59)	(1.78)	(1.90)	(1.96)
28	29	30	31	44,287	2	3	週合計	18	19	20	21	22	23	24	週合計
323	213	432	600	616	613	666	3,463	262	224	313	491	461	379	283	2,413
(3.23)	(2.70)	(2.36)	(2.29)	(2.32)	(2.04)	(1.73)	(2.20)	(1.57)	(2.13)	(1.39)	(1.41)	(1.42)	(1.49)	(0.74)	(1.34)
4	5	6	7	8	9	10	週合計	25	26	27	28	29	30	31	週合計
593	341	731	879	957	927	991	5,419	471	374	741	798	932			
(1.84)	(1.60)	(1.69)	(1.47)	(1.55)	(1.51)	(1.49)	(1.56)	(1.80)	(1.67)	(2.37)	(1.63)	(2.02)			
11	12	13	14	15	16	17	週合計								
827	602	1,099	1,130	1,208	1,206	1,161	7,233								
(1.39)	(1.77)	(1.50)	(1.29)	(1.26)	(1.30)	(1.17)	(1.33)								
18	19	20	21	22	23	24	週合計								
1,219	719	1,153	1,241	1,167	1,161	1,097	7,757								
(1.47)	(1.19)	(1.05)	(1.10)	(0.97)	(0.96)	(0.94)	(1.07)								
25	26	27	28	29	30	44,317	週合計								
1,050	922	1,230	1,260	1,171	1,041	1,260	7,934								
(0.86)	(1.28)	(1.07)	(1.02)	(1.00)	(0.90)	(1.15)	(1.02)								

緊急事態措置
適用(4/25)

まん防適用
(4/5)

25人超過
(3/31 28.59)

15人超過
(3/26 15.24)

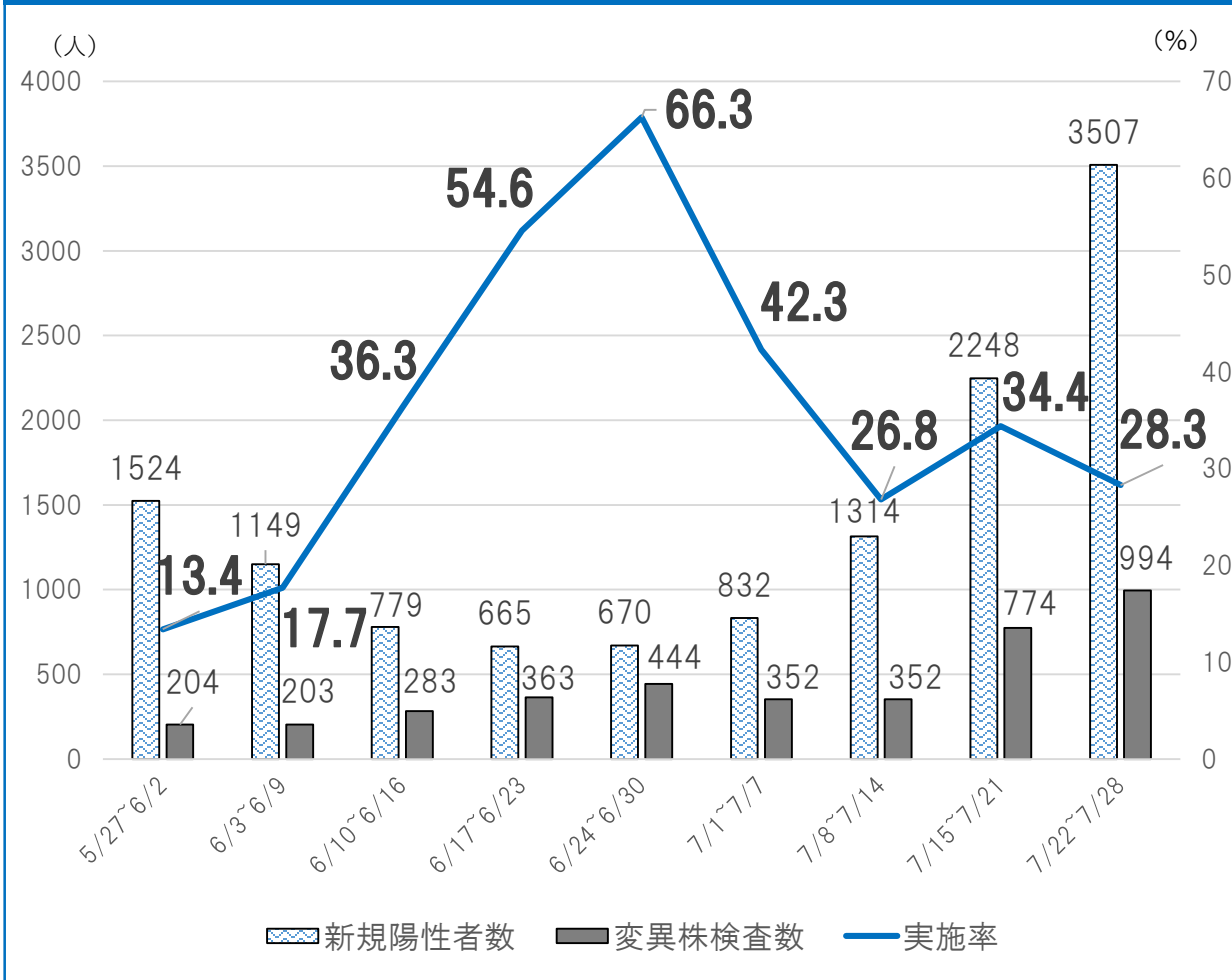
25人超過
(7/21 25.50)

15人超過
(7/15 17.14)

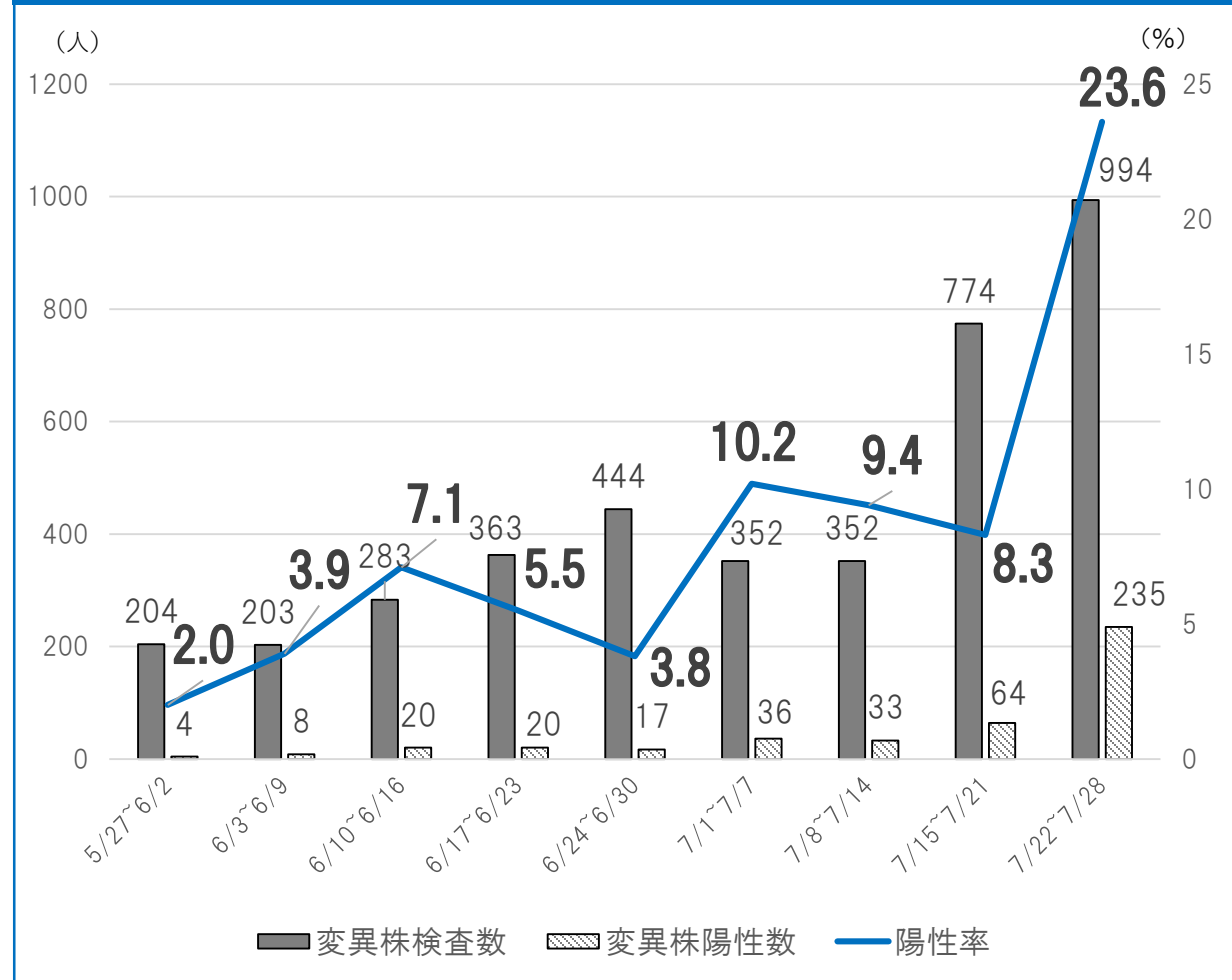
L452R変異株スクリーニングの実施率及び陽性率（7月28日時点）

◆ L452R変異株スクリーニング検査における直近7日間の陽性率は23.6%と前週に比べ大きく増加。

新規陽性者数及びスクリーニング検査数（実施率）



スクリーニング検査数と陽性数（陽性率）



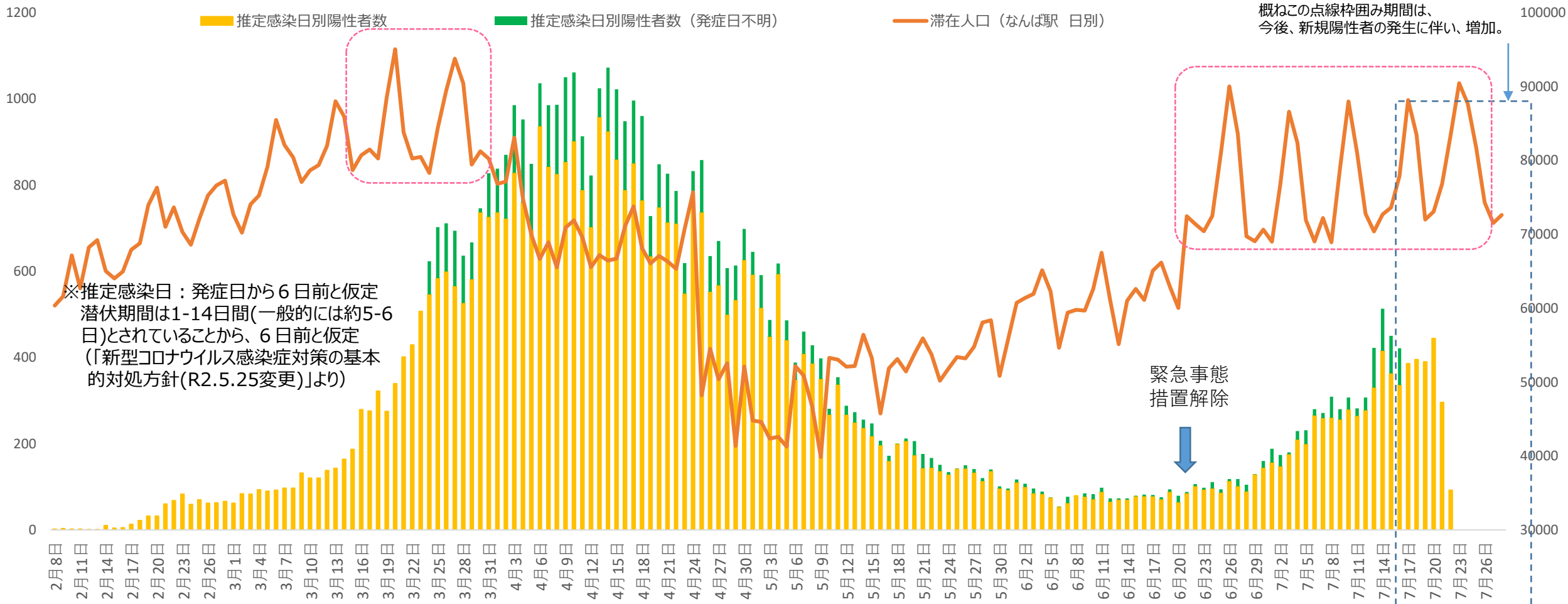
○一般財団法人阪大微生物病研究会でのスクリーニングが始まった5月下旬から1週間毎に集計。（国が委託する大手民間検査機関分も含む）
 新規陽性者及びスクリーニング陽性数は当該週の公表数、スクリーニング検査数は当該週の結果判明数として、実施率及び陽性率を機械的に算出。
 ※スクリーニング検査数には、インド等への渡航歴がある者やデルタ株等陽性患者との接触歴がある者の検査数を含む。

第四波・第五波 推定感染日別陽性者数と人流（7月29日時点）

◆緊急事態措置解除（6/21）以降、推定感染日別新規陽性者数は増加。

6月中旬以降のなんば駅の日別の人流は、3月中旬から下旬と比べ、高水準の状態が1か月以上にわたり続いている。人流が拡大すると、新規陽性者数が遅れて増加することから、今後、感染が更に急拡大していく可能性が高い。

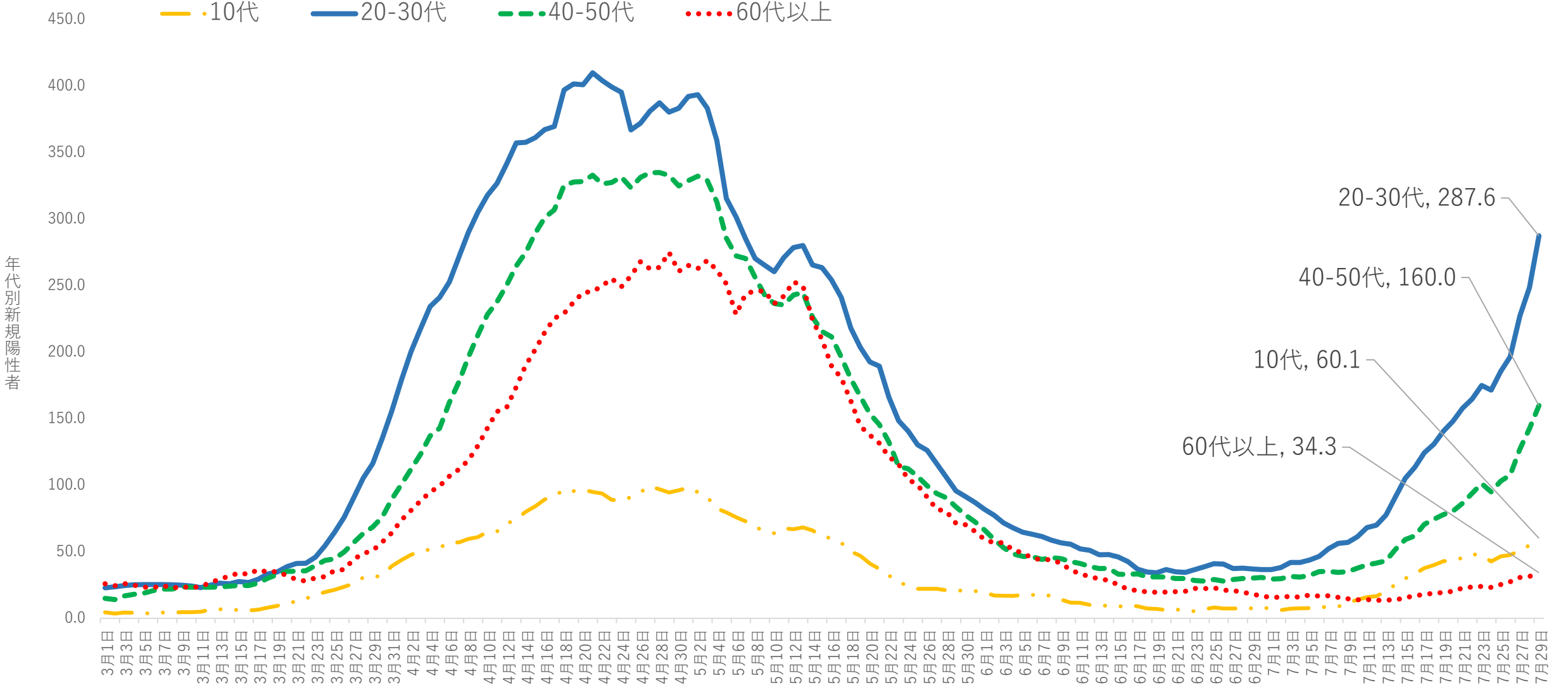
（3月1日以降7月29日までの判明日分）（N=55,244名（調査中、無症状9,847名を除く））



※新規陽性者増加に伴い、有症状で発症日が確認できなかった事例について、陽性判明日から13日遡って算出（陽性者数に占める発症日不明の割合が10%を越えた4/6以降 ※7/16まで）
 人流は、駅中心半径500mエリアの各時間ごと滞在人口をカウント【出典：株式会社Agoop】

年代別新規陽性者数（7日間移動平均）の推移（日別）

◆ 20・30代及び40・50代で新規陽性者数が大きく増加。



「大阪モデル」モニタリング指標の状況

◆ 各指標すべて数値が増加。

◆ 7月21日に、直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数が25人を超え、赤信号の点灯基準を満たした。

区分	モニタリング指標		警戒の目安	非常事態の 目安	非常事態解 除の目安	警戒解除の 目安	4/25 緊急事態 措置適用	6/21 緊急事態措置 解除・まん延防 止等重点措置 適用	7/25	7/26	7/27	7/28	7/29	現在の状況
感染状況	分科会 指標	①直近1週間の人口10万人あたり新 規陽性者数	15人以上 (約189人/ 日)	25人以上 (約315人/ 日)	—	—	86.08	7.39	29.74	31.45	36.30	39.78	45.13	7/21に25を超過
医療提供 体制	分科会 指標	②病床使用率 重症・軽症中等症ともに確保病床数を 分母として算出	20%以上	50%以上	7日間連続 50%未満	7日間連続 20%未満	88.7%	24.5%	26.9%	29.2%	26.1%	26.4%	27.6%	7/18に20%を超過
	独自指標	③重症病床使用率 一般医療と両立可能な病床数を分母と して算出	20%以上	60%以上	7日間連続 60%未満	7日間連続 20%未満	126.8% (98.6%)	44.0% (30.6%)	17.8% (9.8%)	20.3% (11.1%)	19.4% (10.6%)	20.9% (11.4%)	22.8% (12.4%)	7/26に20%を超過

【参考指標】

医療提供 体制等	①軽症中等症病床使用率	—	—	—	—	87.1%	23.6%	30.9%	33.4%	29.7%	29.9%	31.1%	7/2以降、増加傾向
	②宿泊療養施設部屋数使用率	—	—	—	—	52.7%	5.6%	26.7%	26.3%	29.0%	31.4%	35.0%	7/2以降、増加傾向

・4月25日及び6月21日の重症病床使用率における重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者を除く。

・括弧内は、確保病床数（4/25は運用病床数）を分母として算出

新型コロナウイルス感染症対策分科会におけるモニタリング指標の状況

◆ 医療提供体制等の負荷を示す指標及び陽性率以外は、ステージⅣの目安を超過。

指標		ステージⅣ 目安	ステージⅢ 目安	4/25 緊急事態措置適用	6/21 緊急事態措置解除 まん防適用	7/25	7/26	7/27	7/28	7/29	7/29時点の ステージⅣの目安に 対する状況	7/29時点の ステージⅢの目安に 対する状況	
医療提供体制等の負荷	医療の逼迫具合	①確保病床占有率	50%以上	20%以上	88.7% (1,882/2,122)	24.5% (664/2,710)	26.9% (831/3,086)	29.2% (901/3,086)	26.1% (807/3,097)	26.4% (817/3,097)	27.6% (854/3,097)	○	●
		②入院率	25%以下	40%以下	11.3% (1,882/16,692)	37.1% (664/1,791)	24.0% (831/3,456)	25.6% (901/3,517)	20.7% (807/3,894)	18.3% (817/4,464)	16.9% (854/5,062)	●	●
		③重症病床確保病床占有率	50%以上	20%以上	73.1% (386/528)	25.7% (217/843)	12.4% (150/1205)	13.1% (158/1205)	17.3% (209/1208)	17.7% (214/1208)	18.2% (220/1208)	○	○
		④人口10万人あたり療養者数	30人以上	20人以上	189.36	20.32	39.21	39.90	44.17	50.64	57.42	●	●
感染の状況	⑤陽性率 1週間平均		10%以上	5%以上	7.5%	0.9%	3.8%	4.1%	4.4%	4.7%	5.2%	○	●
	⑥直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数		25人以上	15人以上	86.08	7.39	29.74	31.45	36.30	39.78	45.13	●	●
	⑦感染経路不明割合 1週間平均		50%以上	50%以上	61.3%	64.2%	63.7%	63.9%	65.2%	66.7%	67.3%	●	●

入院率は、人口10万人あたり療養者数が10人以上の場合に適用する。ただし、新規陽性者が発生届が届け出られた翌日までに療養場所の種別が決定され、かつ入院が必要な者が同日までに入院している場合には適用しない。
4月25日及び6月21日の重症病床使用率における重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者を除く。

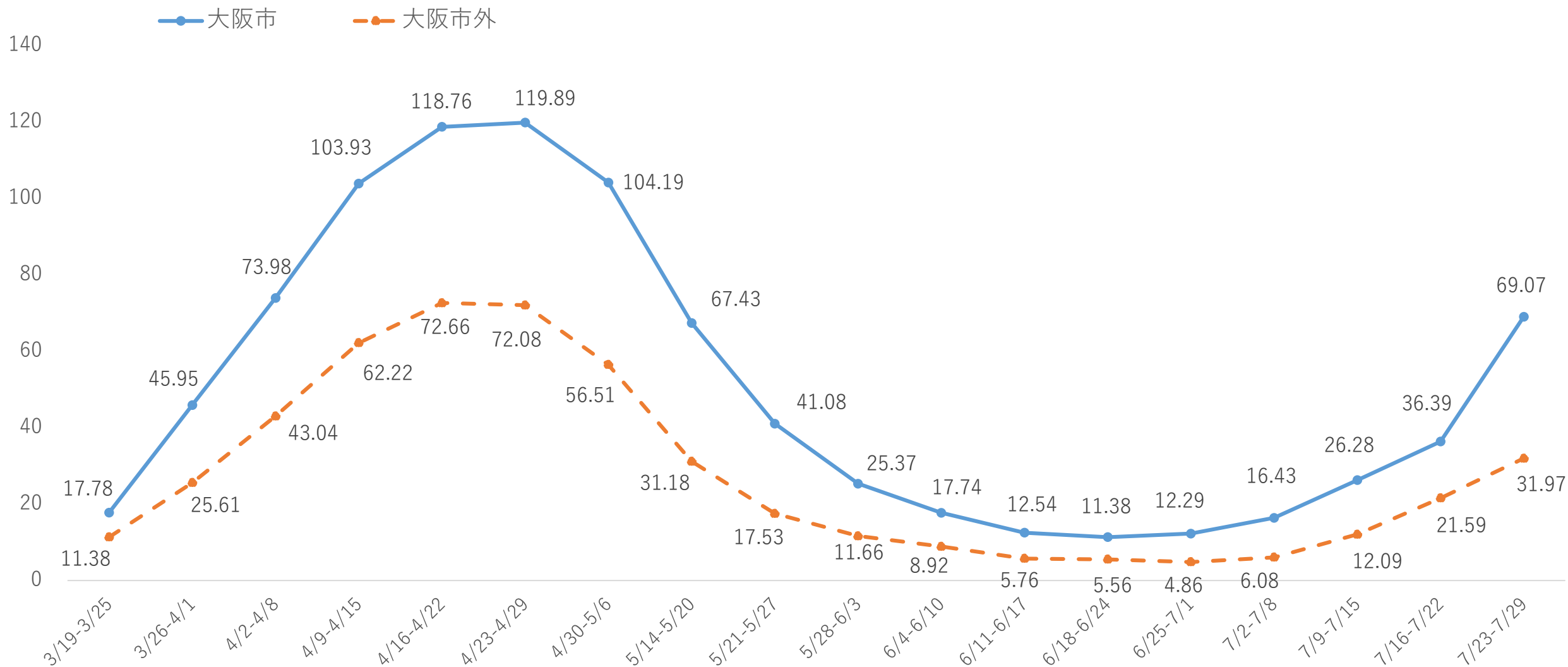
●：基準外 ○：基準内

2 市内・市外の比較

大阪市・市外の陽性者比較（人口10万人あたり） 1週間単位

※市内外は居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

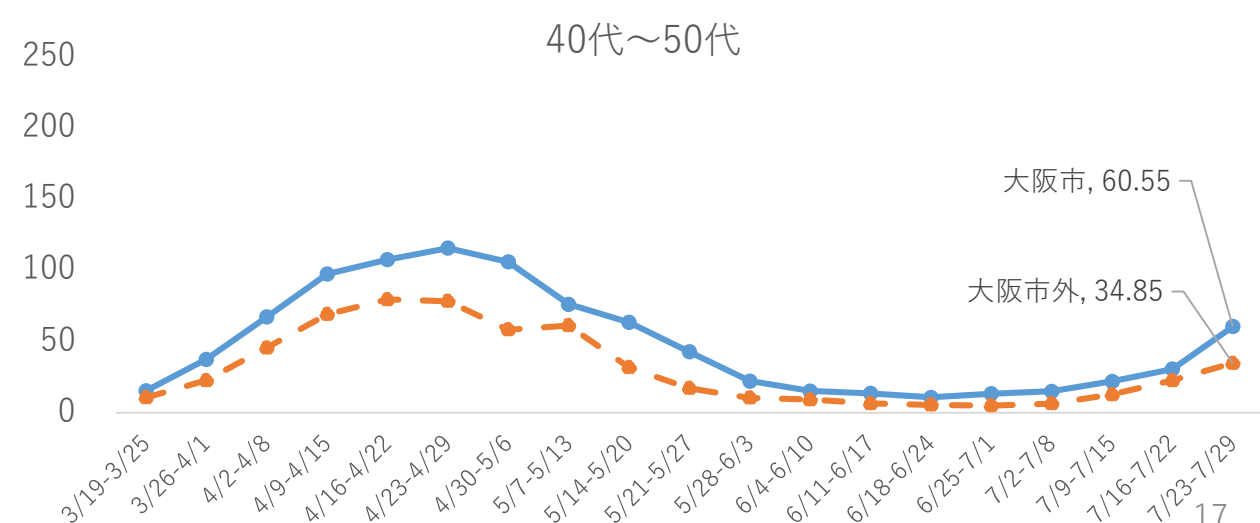
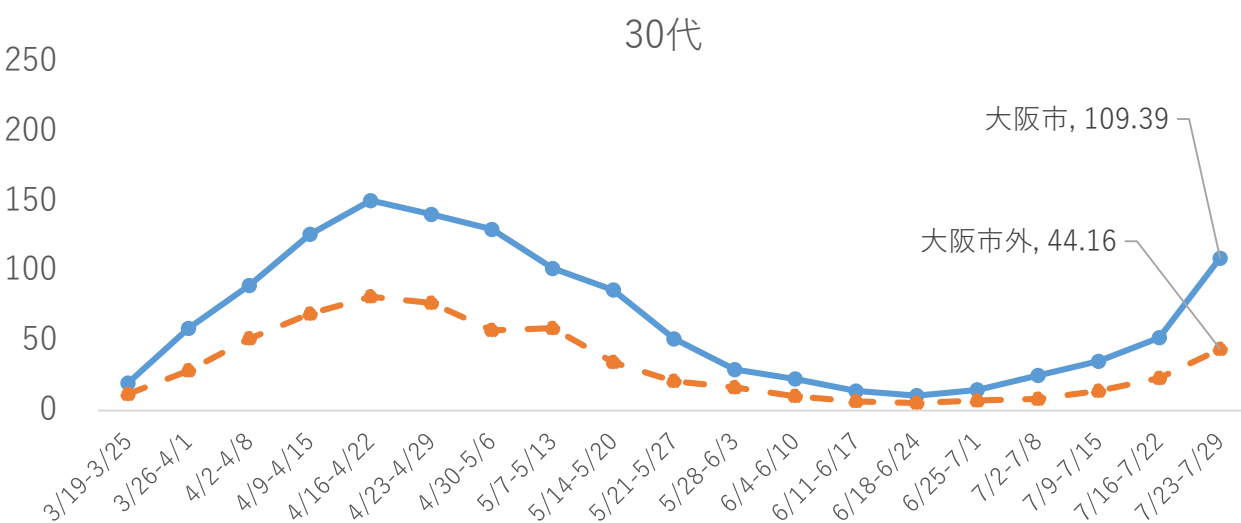
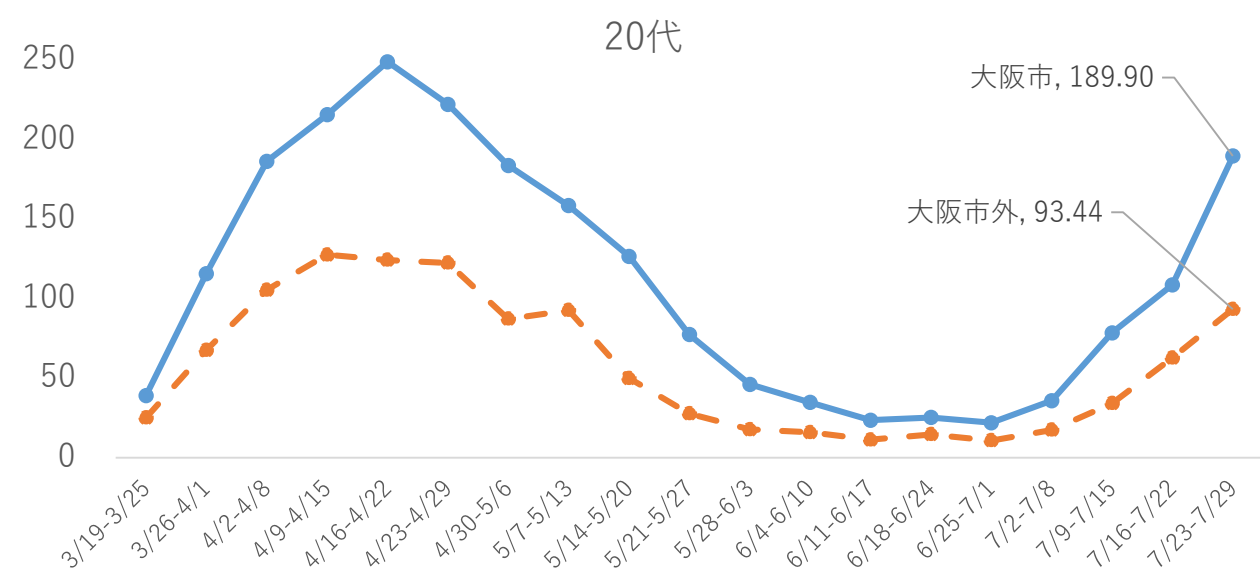
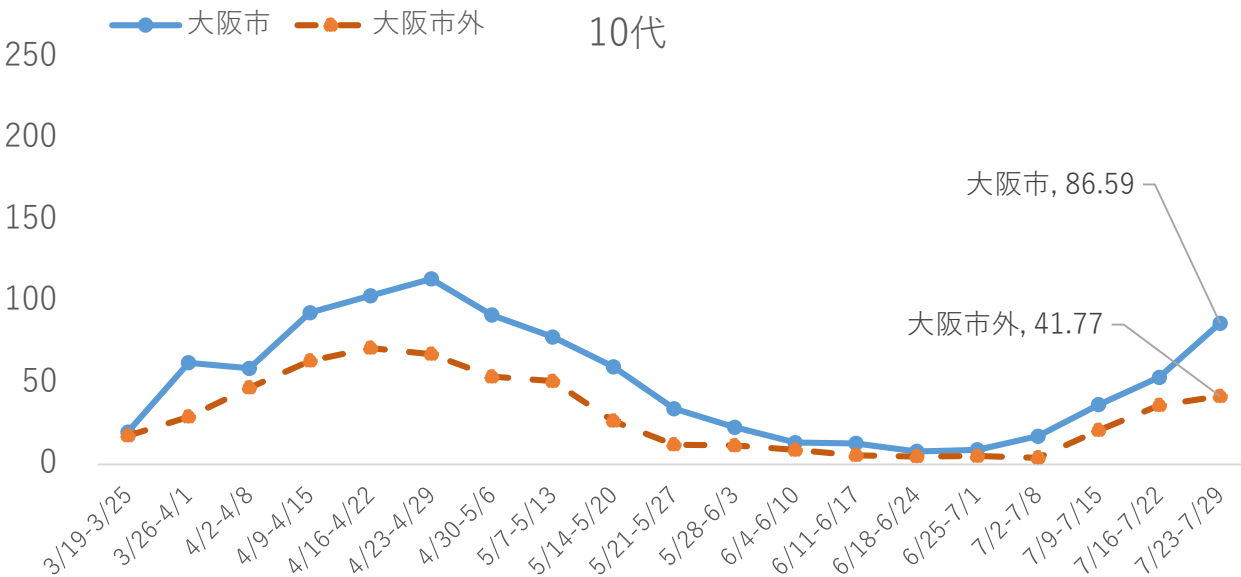
◆ 7月に入り、市内・市外ともに新規陽性者数が増加。いずれも、ステージⅣ（25人）の基準を大きく超過。



大阪市・市外 年代別陽性者比較（人口10万人あたり）

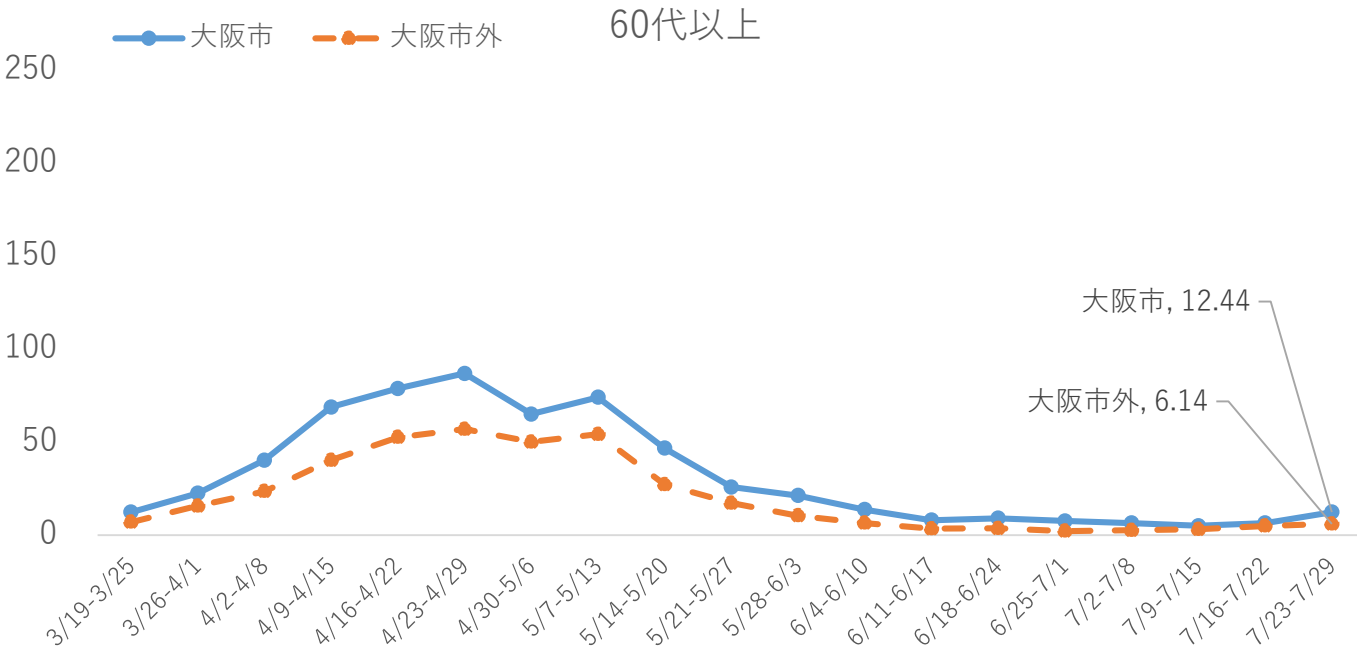
※市内外は居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

◆ 市内・市外ともに、60代以上を除いた年代で新規陽性者数が増加。
 60代以上は、市内・市外ともに、ステージⅢ（15人）の基準以下。



大阪市・市外 年代別陽性者比較（人口10万人あたり）

※市内外は居住地による
※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く



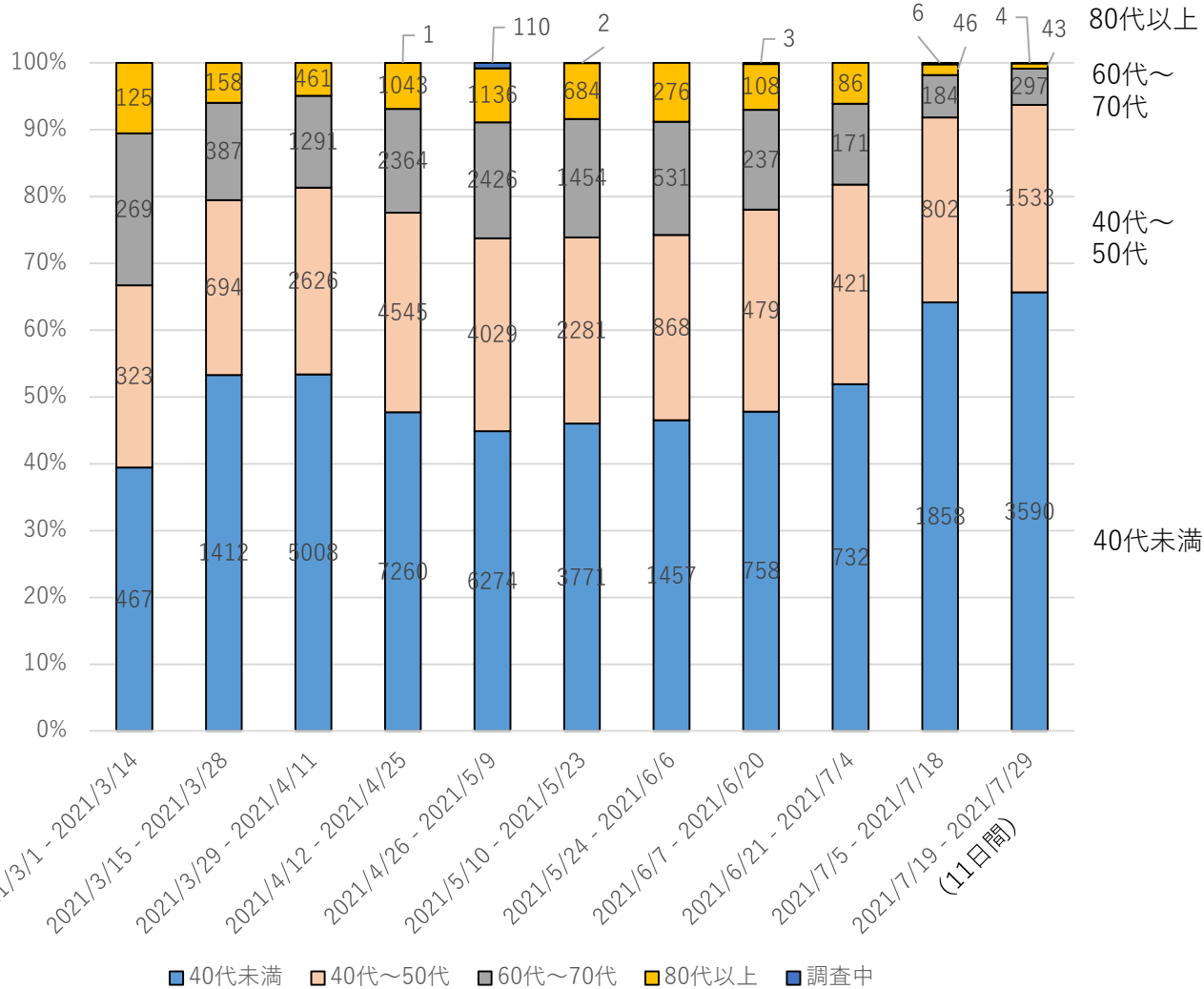
3 年代・居住地別の比較

陽性者の年齢区分

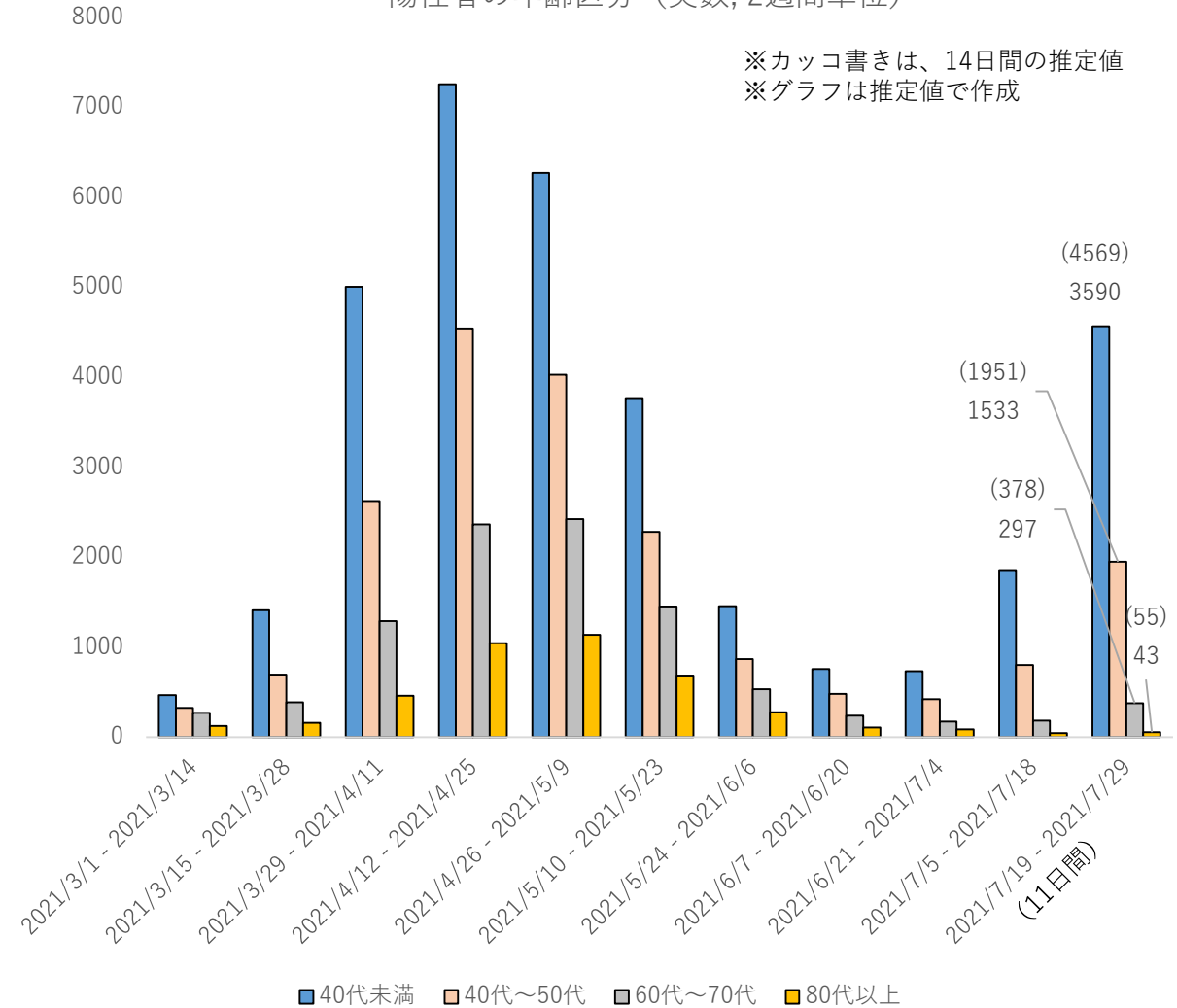
◆ 7月には、40代未満の割合が6割を超過。一方、60代以上の割合は1割を下回っている。

(3月1日以降7月29日までに判明した65,091事例の状況)

陽性者の年齢区分 (割合, 2週間単位)



陽性者の年齢区分 (実数, 2週間単位)



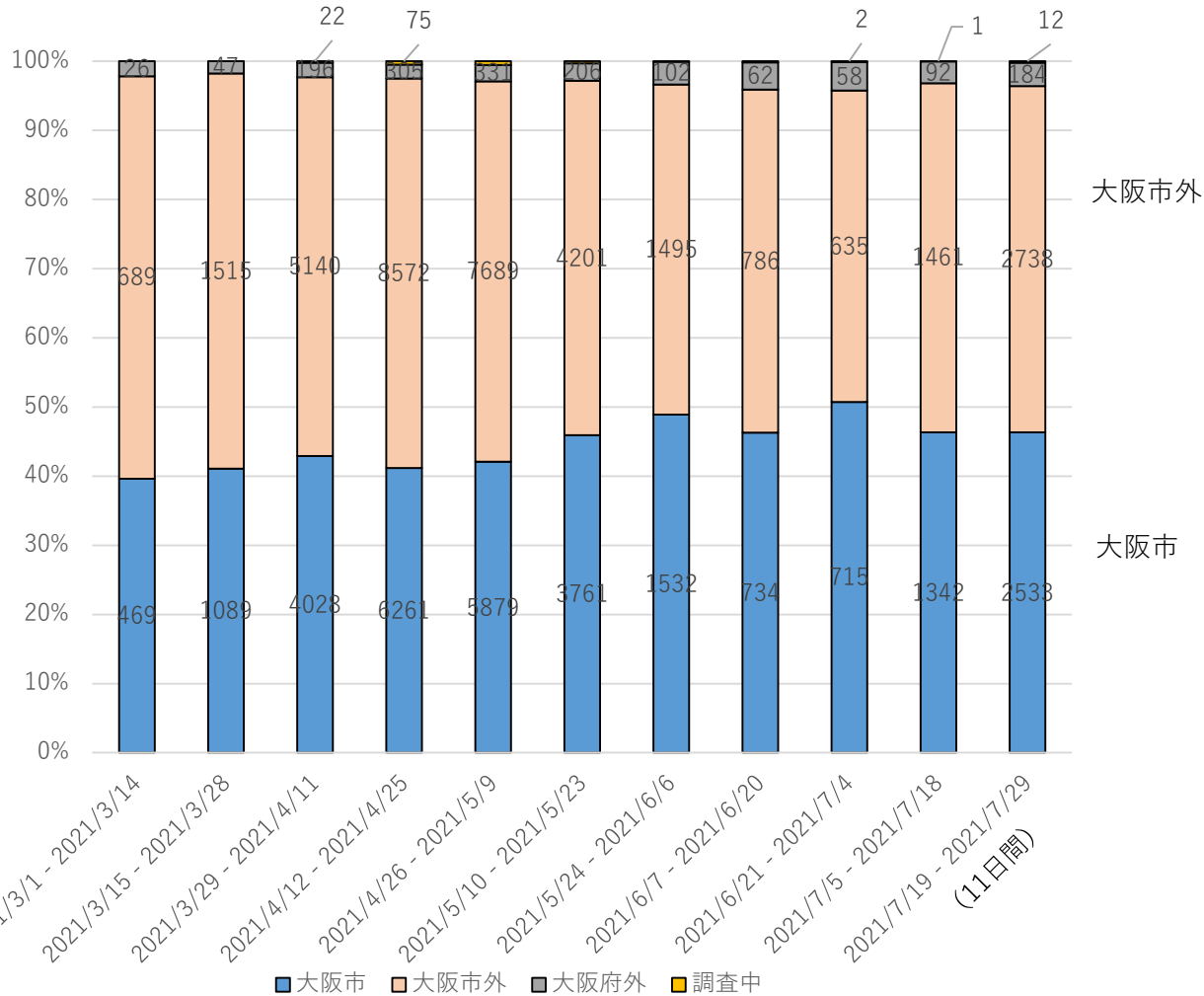
※カッコ書きは、14日間の推定値
※グラフは推定値で作成

陽性者の居住地

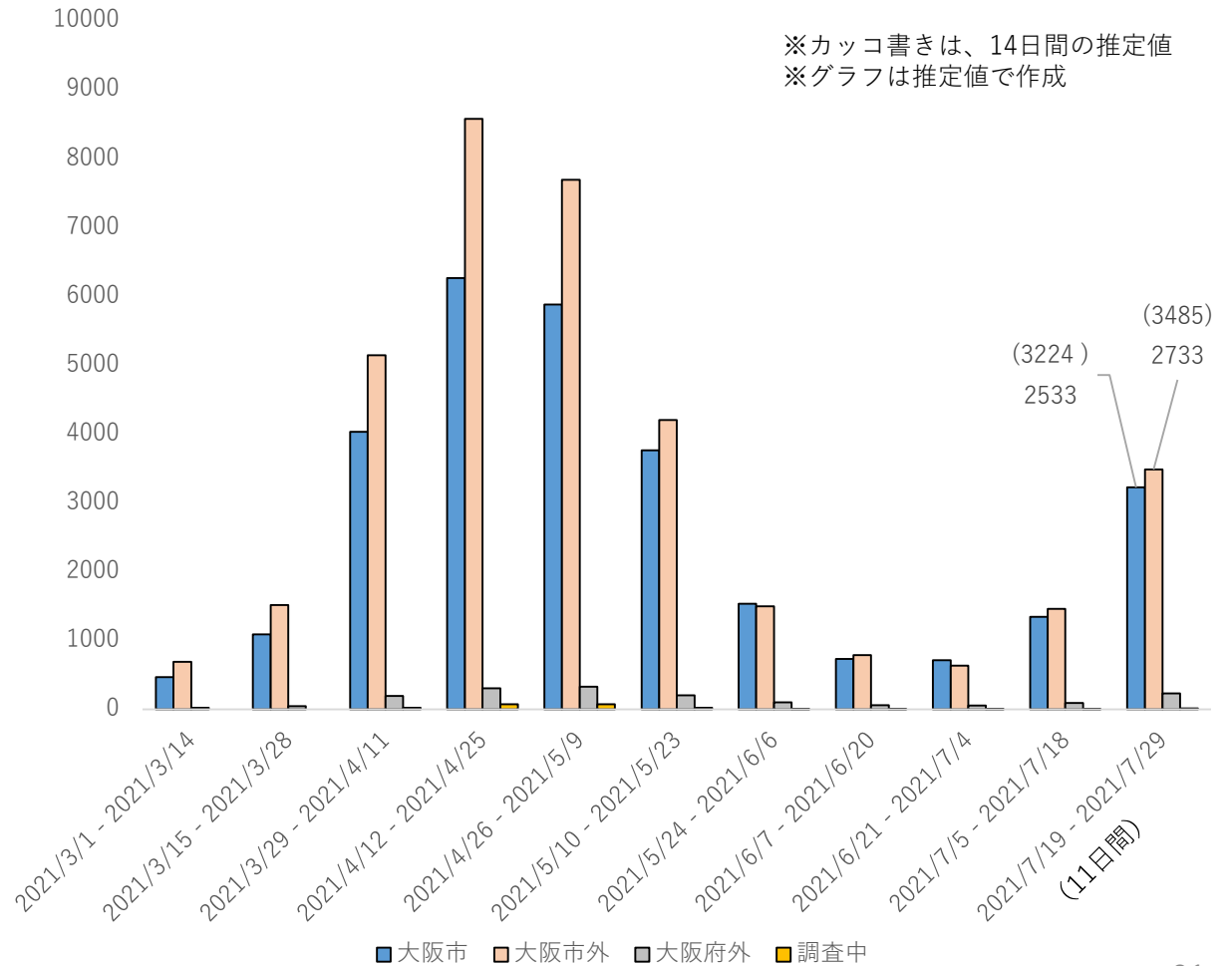
◆ 市内居住者、市外居住者の割合は各5割程度で、横ばいで推移。

(3月1日以降7月29日までに判明した65,091事例の状況)

陽性者の居住地区分 (割合, 2週間単位)



陽性者の居住地区分 (実数, 2週間単位)



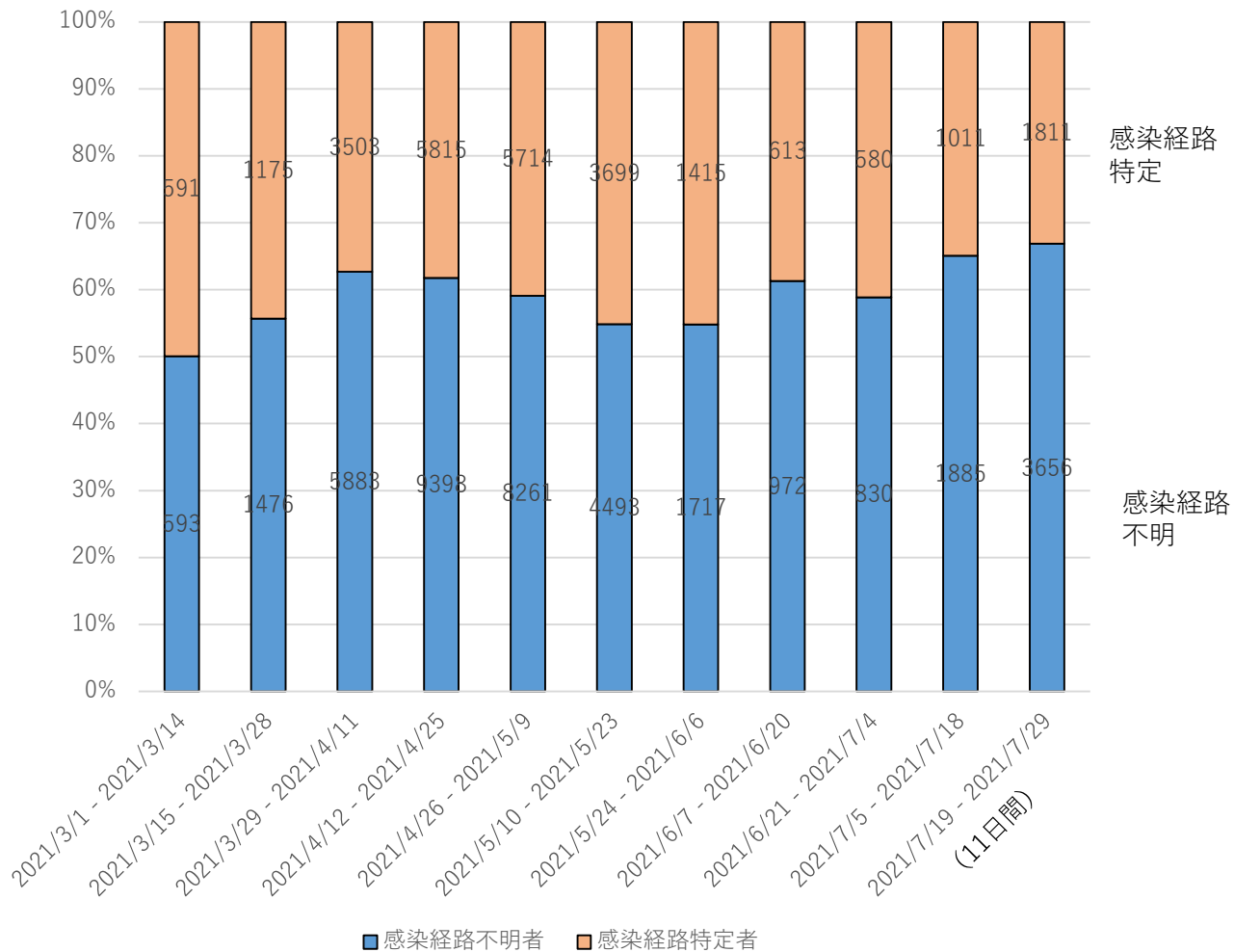
4 感染経路

陽性者の感染経路の状況

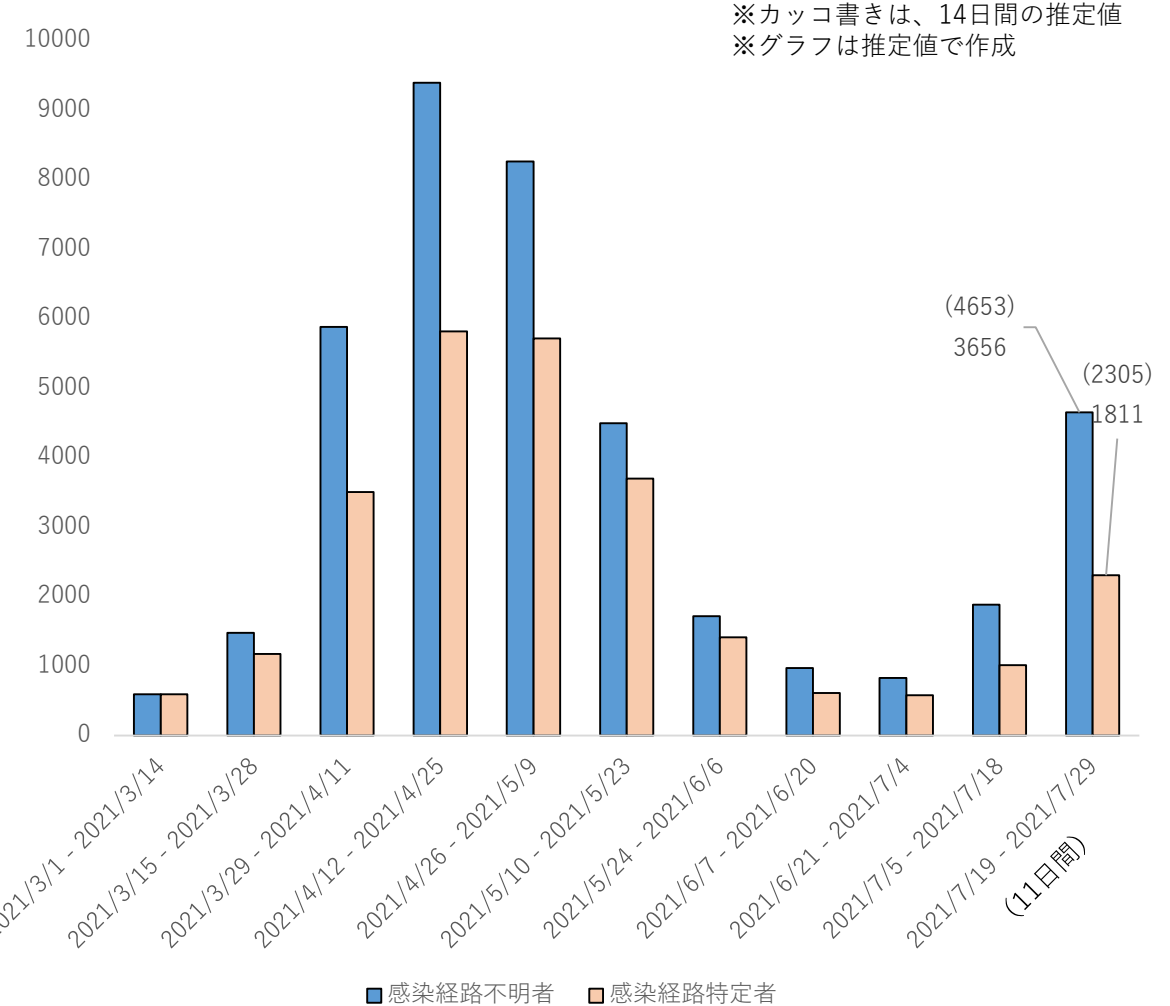
◆ 感染経路不明の割合は6月下旬以降、6割以上で増加傾向。

(3月1日以降7月29日までに判明した65,091事例の状況)

感染経路の状況 (割合)



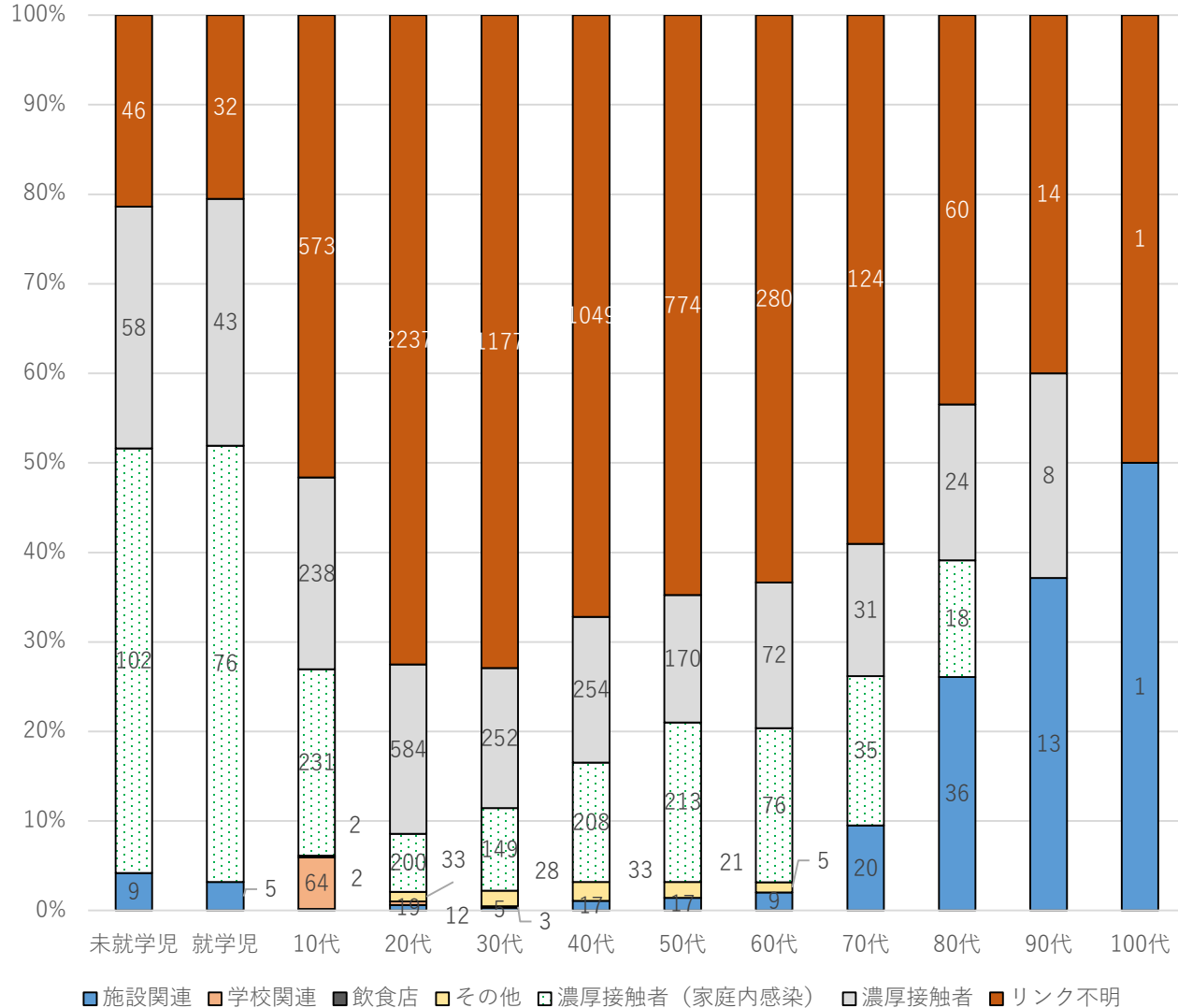
感染経路の状況 (実数)



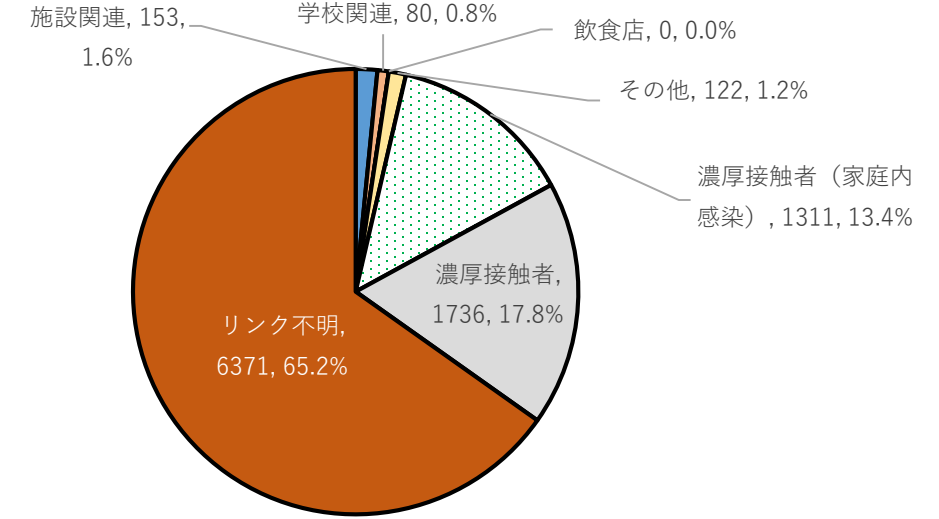
感染経路（第五波）

◆ 第五波の新規陽性者の感染経路は、施設関連が減少し、リンク不明がやや増加。

年代別感染経路



(6月21日以降7月29日までに判明した9,773事例の状況)
全年代感染経路



時点	施設関連	学校関連	飲食店	その他	濃厚接触者 (家庭内感染)	濃厚接触者	リンク不明
第二波	7.7%	0.5%	0.5%	0.4%	12.3%	18.6%	60.0%
第三波	13.0%	1.2%	0.2%	1.4%	16.7%	14.8%	52.7%
第四波	6.0%	0.5%	0.0%	1.0%	16.4%	16.7%	59.3%
第五波 (6/21~7/29)	1.6%	0.8%	0.0%	1.2%	13.4%	17.8%	65.2%

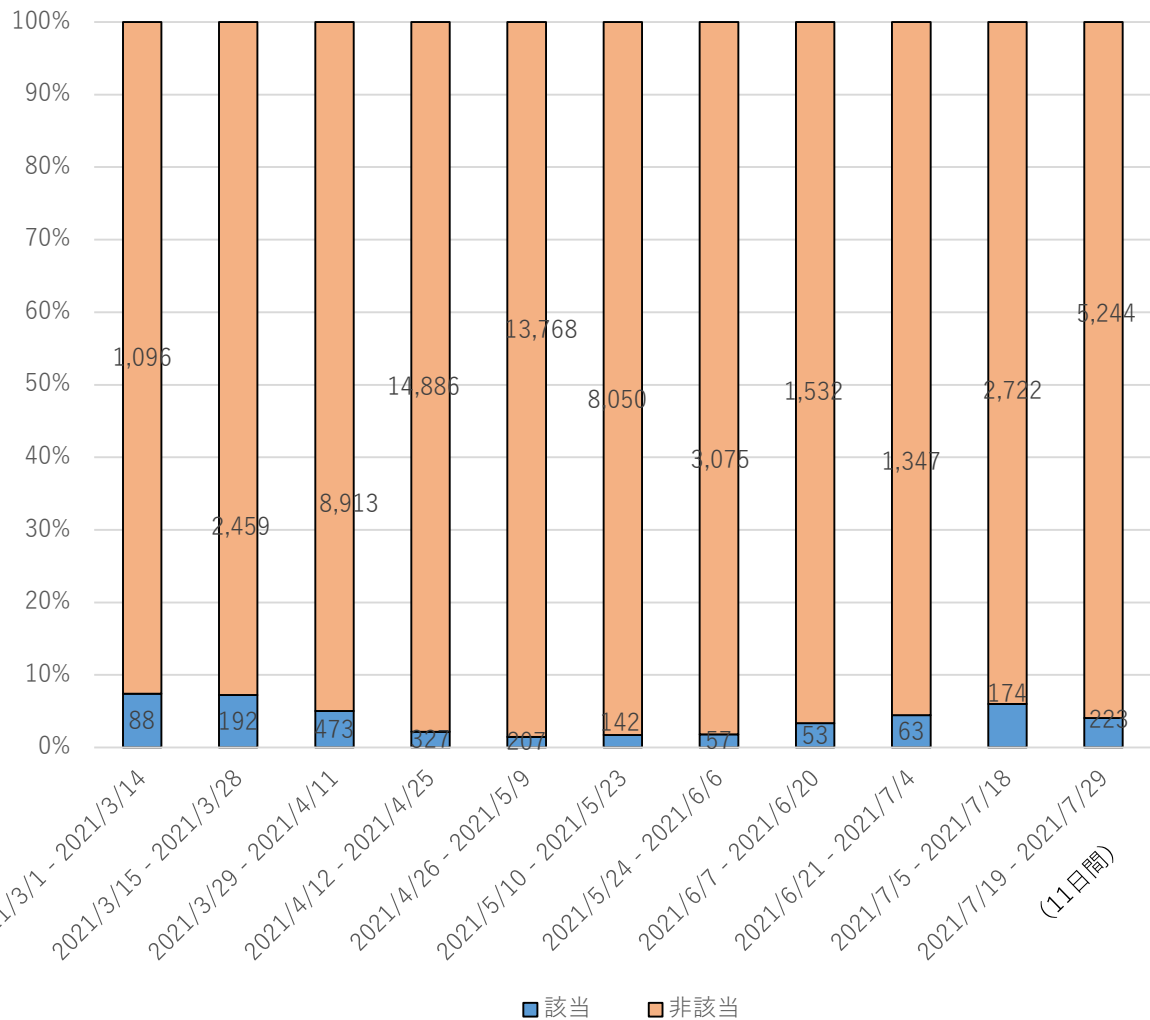
5 感染エピソード

夜の街の関係者及び滞在者の状況（陽性者全体における該当者）

◆ 新規陽性者に占める夜の街の関係者及び滞在者の人数の割合は、第五波で再び増加。人数は第四波の緊急事態措置適用直後の人数を超過。

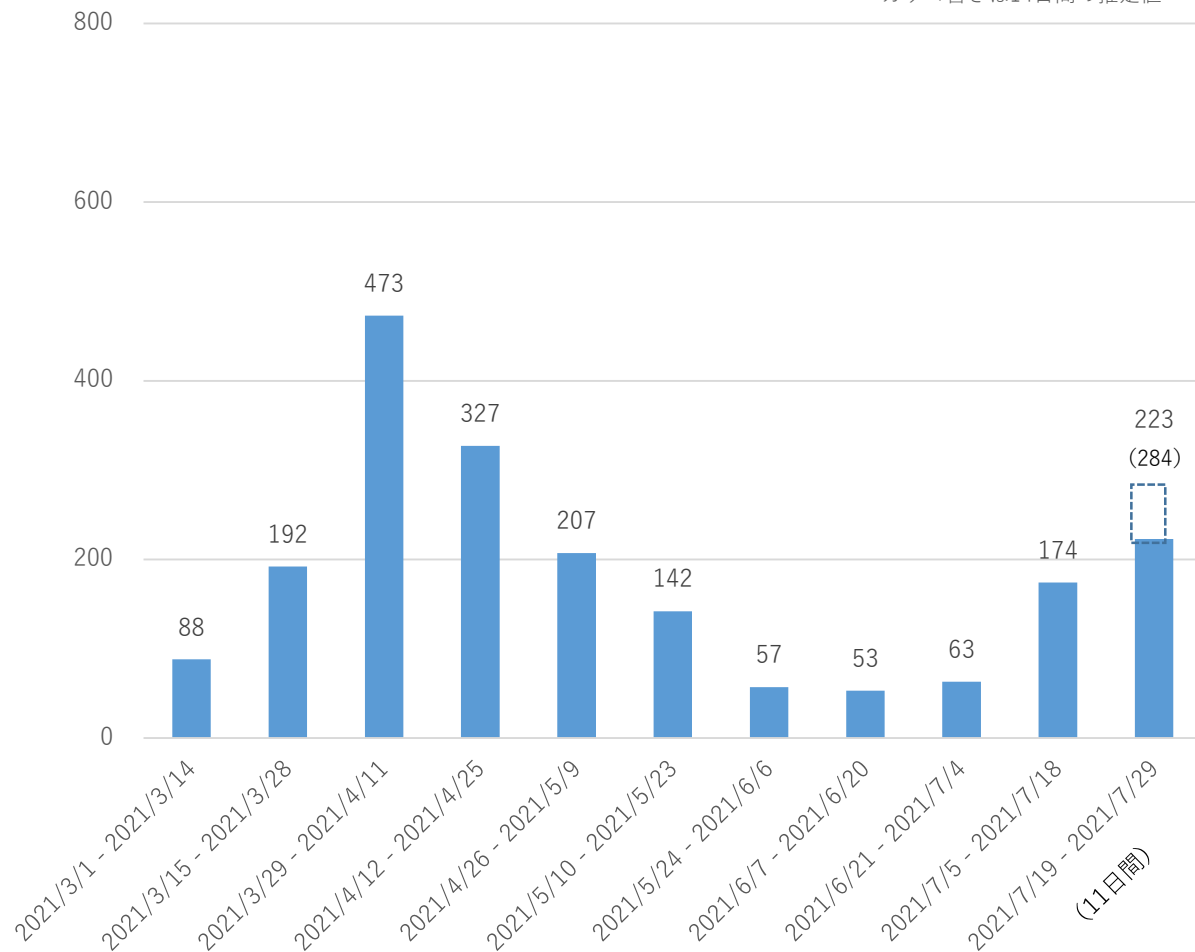
（3月1日以降7月29日までに判明した65,091事例の状況）

夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：割合）



夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：実数）

*カッコ書きは14日間の推定値

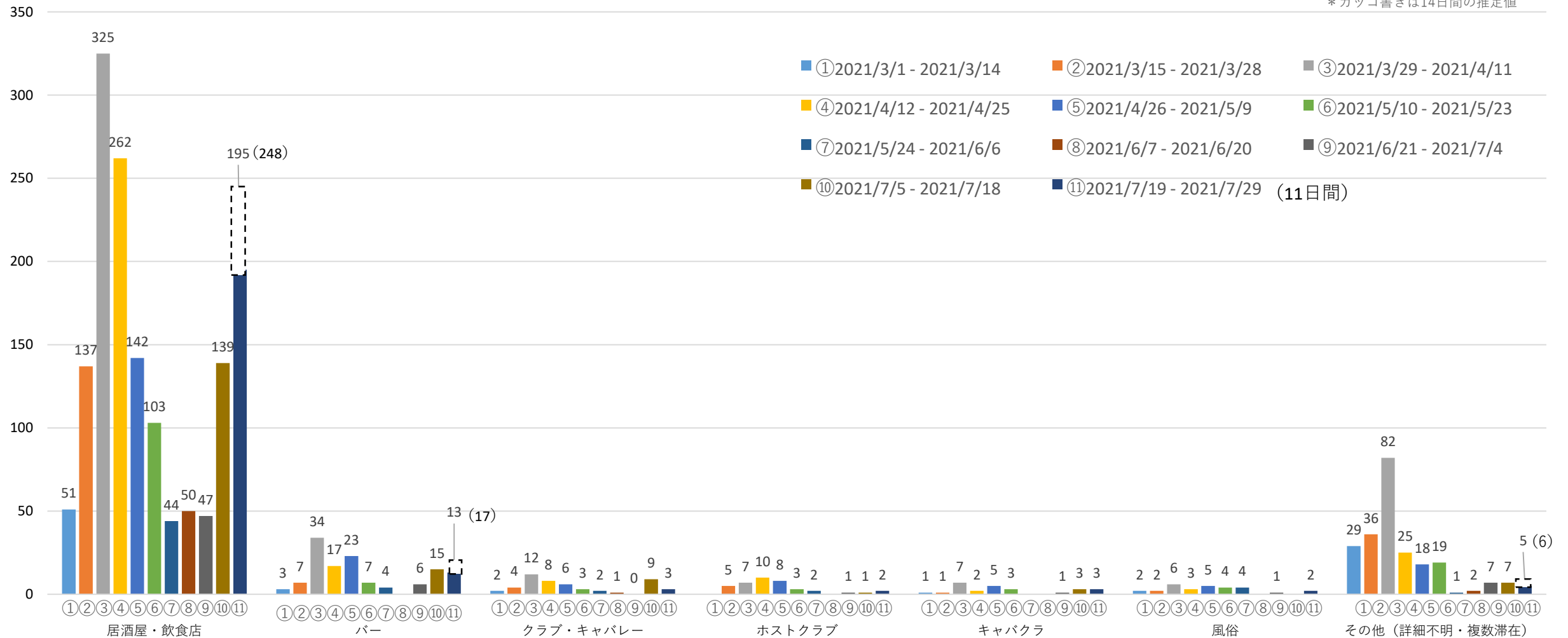


夜の街の滞在分類別の状況

◆ 居酒屋・飲食店では7月以降、顕著に増加し、直近の週は、緊急事態措置適用時の人数近くまで増加の見込み。

(3月1日以降7月29日までに判明した1,999事例の状況)

*カッコ書きは14日間の推定値

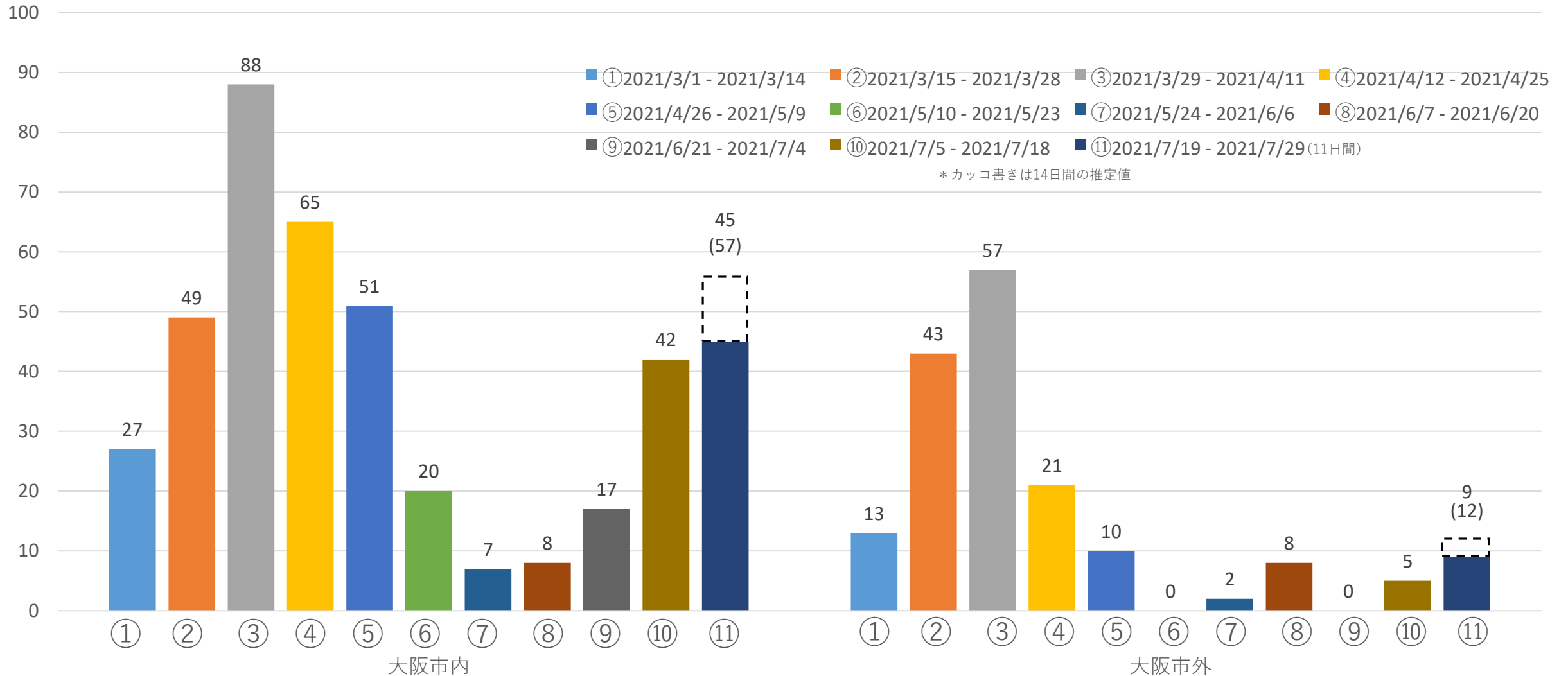


※滞在先の分類は本人からの聞き取り情報による

夜の街の滞在エリア別の状況

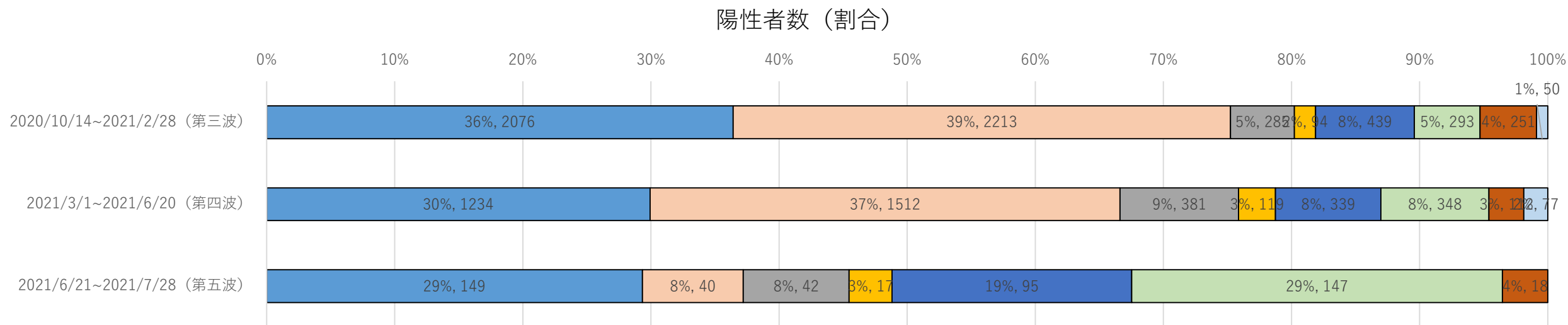
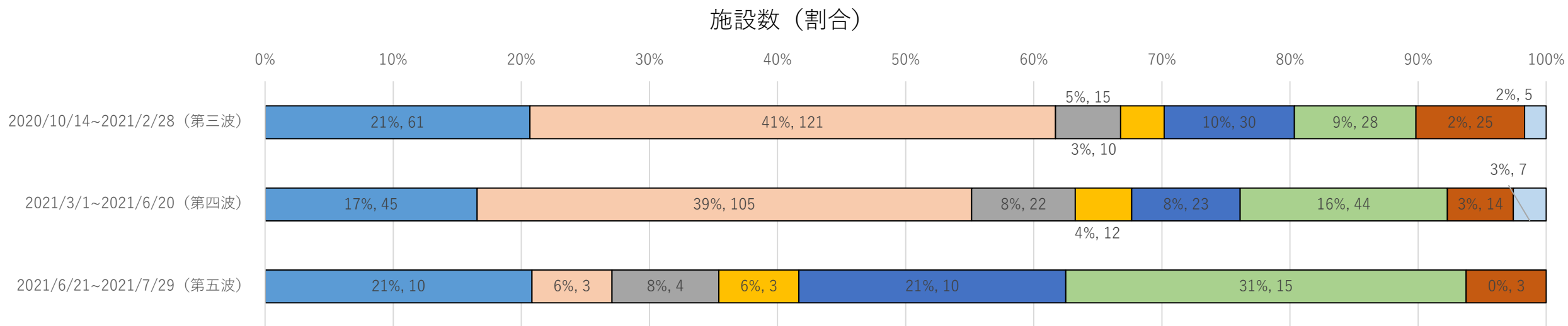
◆ 7月以降、夜の街の滞在エリアとして市内、市外ともに増加。

(3月1日以降7月29日までに判明した1,999事例の状況)



第三波から第五波にかけてのクラスター状況【割合】

◆ 第五波は、第三波・四波と比べ高齢者施設関連の割合が低いですが、大学・学校関連と企業事業所関連の割合が増加。



■ 医療機関関連
 ■ 高齢者施設関連
 ■ 障がい施設関連
 ■ 児童施設関連
 ■ 大学・学校関連
 ■ 企業事業所関連
 ■ 飲食・イベント等関連
 ■ その他

本人からの聞き取り情報による

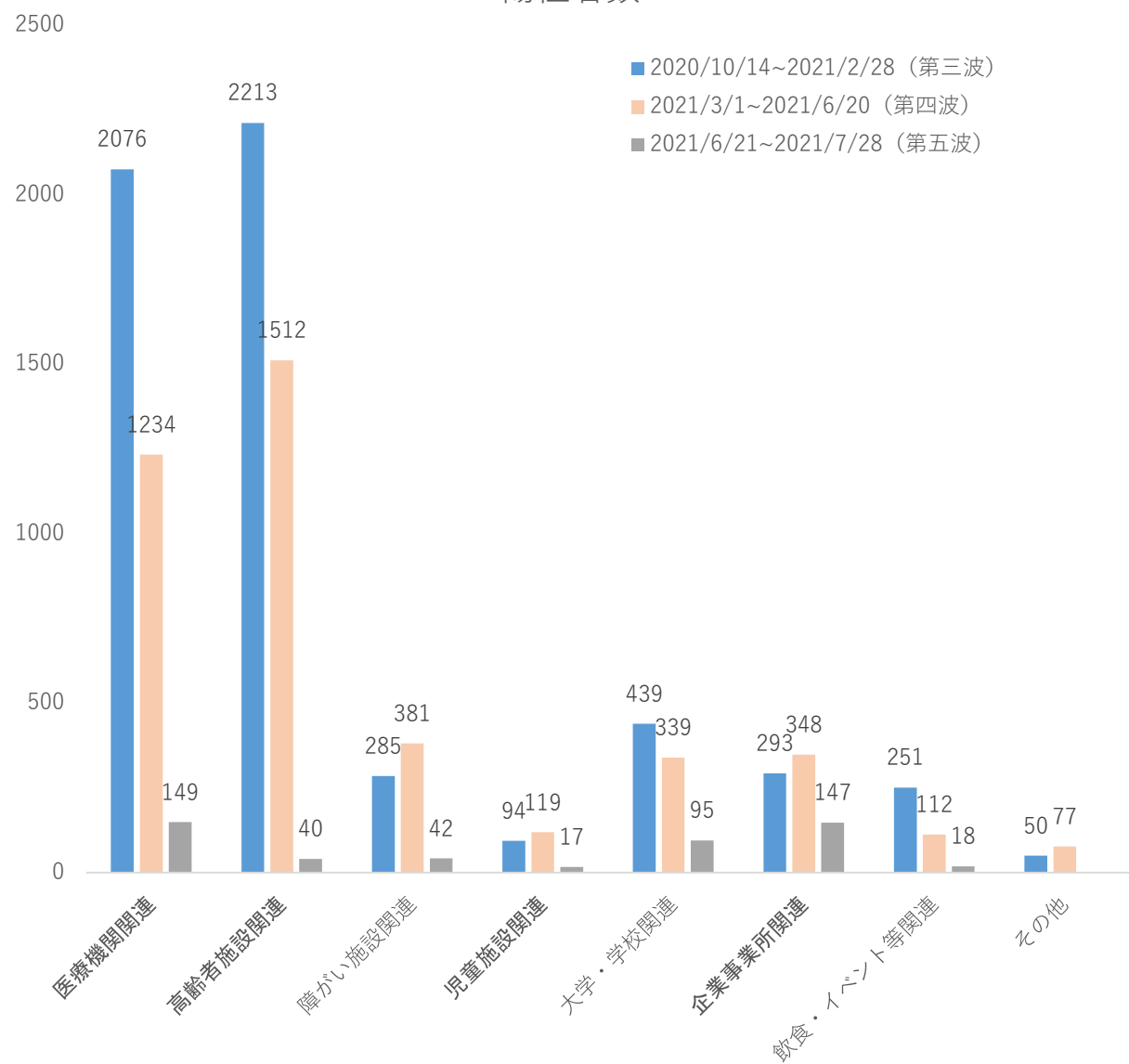
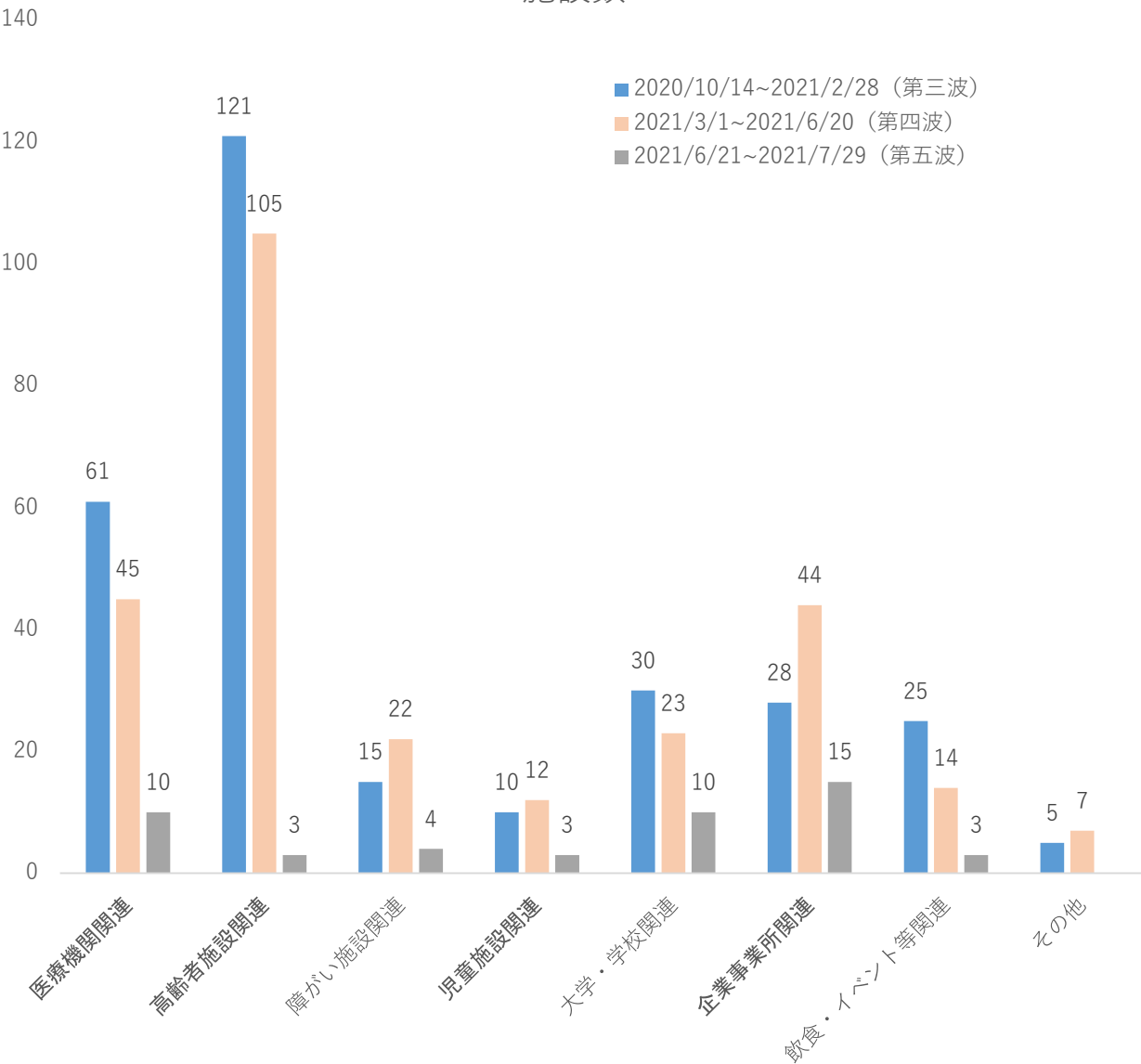
第三波から第五波にかけてのクラスター状況【実数】

施設数

陽性者数

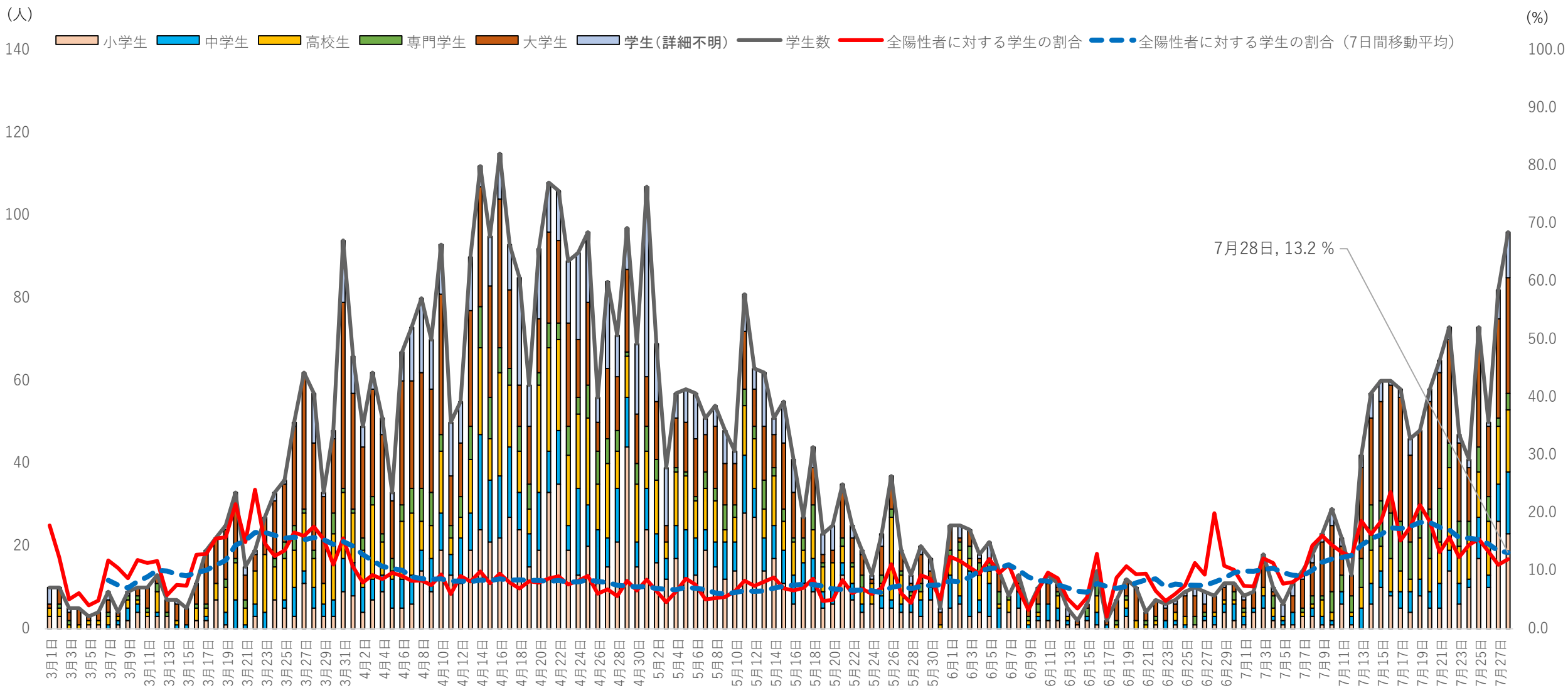
- 2020/10/14~2021/2/28 (第三波)
- 2021/3/1~2021/6/20 (第四波)
- 2021/6/21~2021/7/29 (第五波)

- 2020/10/14~2021/2/28 (第三波)
- 2021/3/1~2021/6/20 (第四波)
- 2021/6/21~2021/7/28 (第五波)



新規陽性者に占める学生の割合（7月28日時点）

◆ 7月以降、全陽性者に占める学生の割合は増加し、直近7日間移動平均では13.2%。

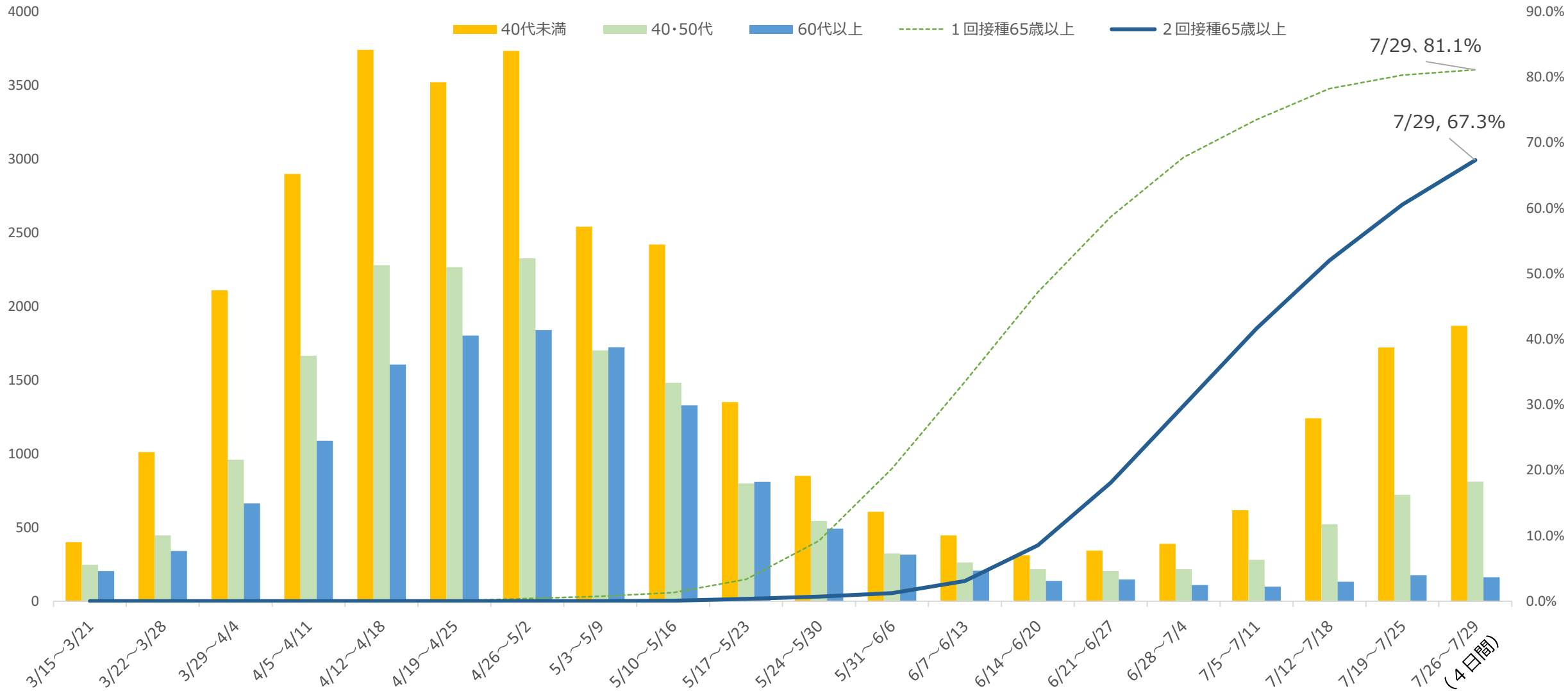


※分類は本人からの聞き取り情報による

6 感染・療養状況と ワクチンの接種状況

新規陽性者数及び高齢者のワクチン接種率（7月29日時点）

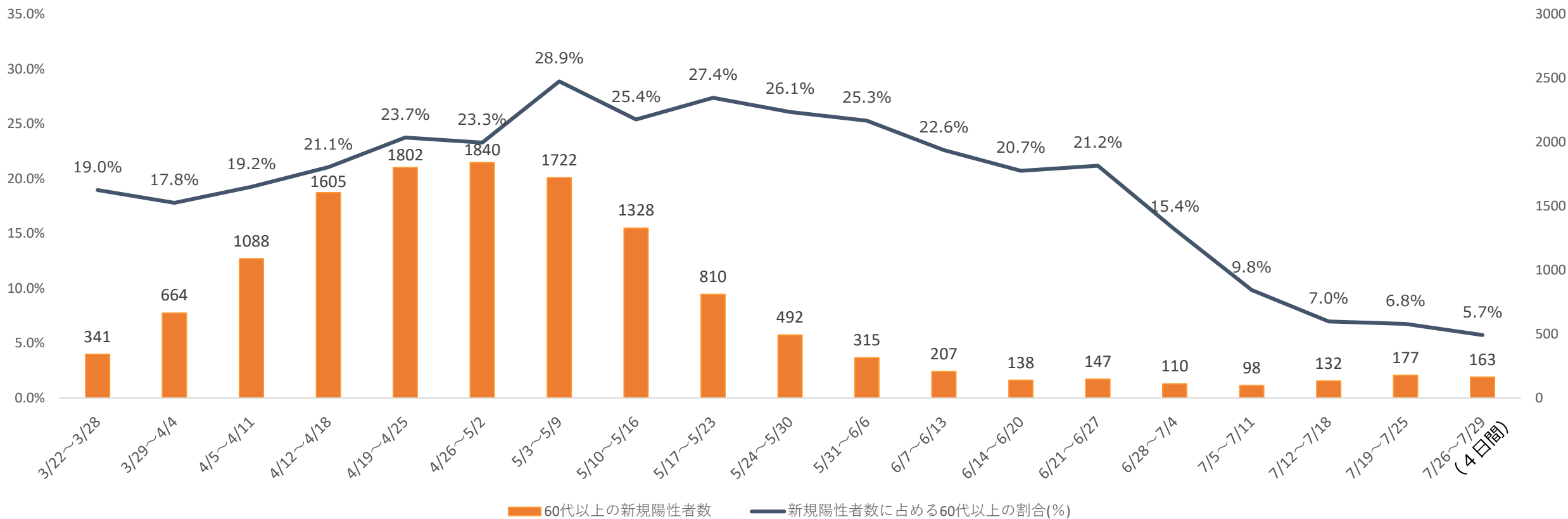
◆現時点で、第五波は、50代以下の新規陽性者数が増加している一方、60代以上の新規陽性者数は微増にとどまっている。



ワクチン接種率：VRSオープンデータより算出

60代以上の新規陽性者数の推移（7月29日時点）

◆現時点で、第五波における60代以上の新規陽性者数は微増にとどまり、7月の新規陽性者数に占める60代以上の割合は10%を下回って推移。

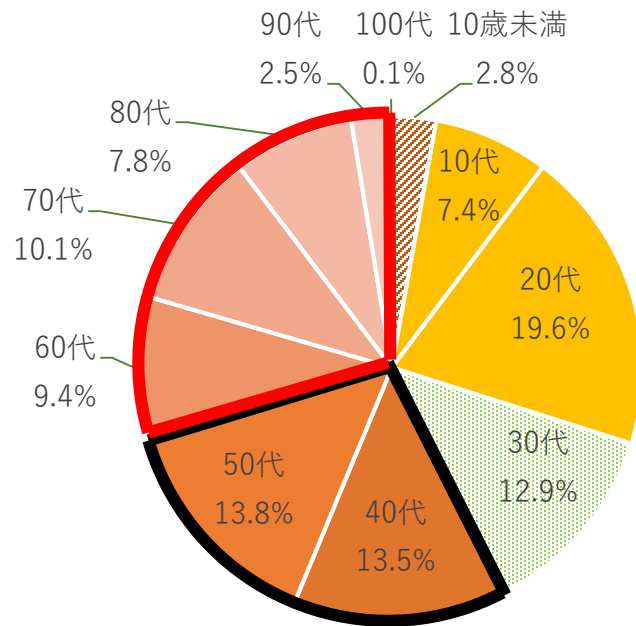


	3/22~3/28	3/29~4/4	4/5~4/11	4/12~4/18	4/19~4/25	4/26~5/2	5/3~5/9	5/10~5/16	5/17~5/23	5/24~5/30	5/31~6/6	6/7~6/13	6/14~6/20	6/21~6/27	6/28~7/4	7/5~7/11	7/12~7/18	7/19~7/25	7/26~7/29
全陽性者数	1,799	3,733	5,653	7,624	7,588	7,900	5,965	5,230	2,960	1,886	1,246	916	666	694	716	996	1,894	2,620	2,843
60代以上の新規陽性者数	341	664	1088	1605	1802	1840	1722	1328	810	492	315	207	138	147	110	98	132	177	163
新規陽性者数に占める60代以上の割合(%)	19.0%	17.8%	19.2%	21.1%	23.7%	23.3%	28.9%	25.4%	27.4%	26.1%	25.3%	22.6%	20.7%	21.2%	15.4%	9.8%	7.0%	6.8%	5.7%

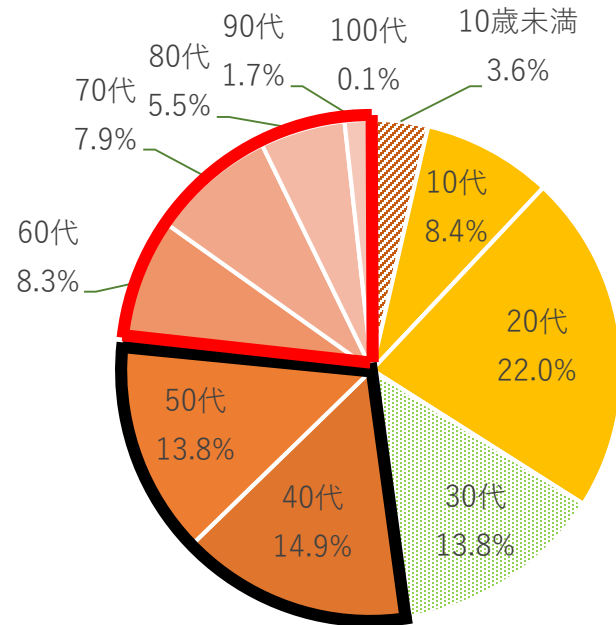
第三波以降の新規陽性者の年代構成（7月29日時点）

◆第三波、第四波と比べ、現時点で第五波は、新規陽性者数（年代不明を除く）に占める30代以下の割合が6割と急増し、60代以上の割合が1割未満に減少。

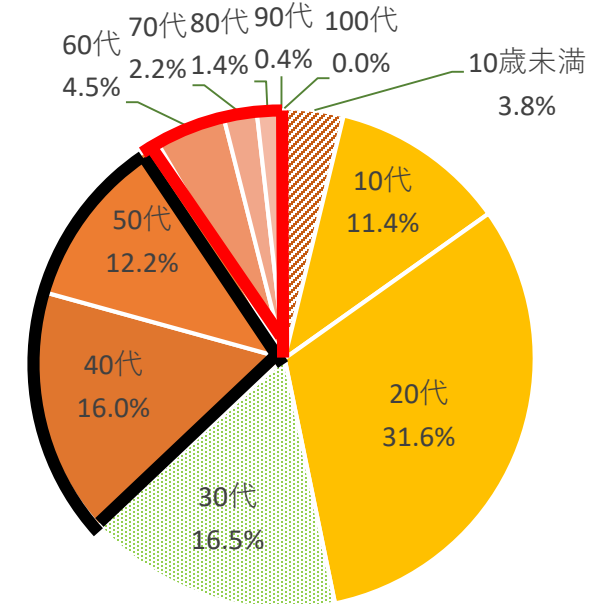
第三波
(10月10日～2月28日)



第四波 ※年代不明の事例を除く
(3月1日～6月20日)



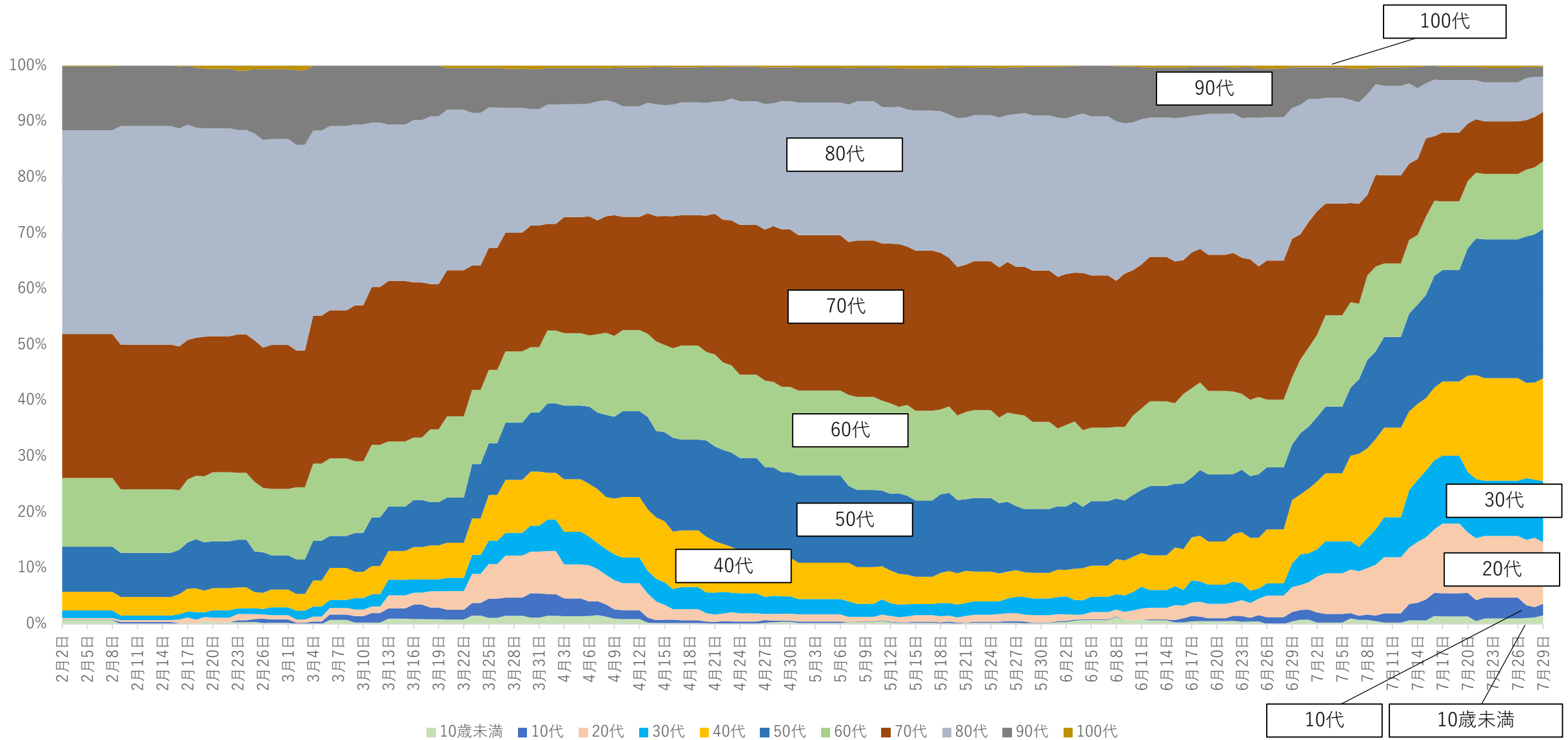
第五波 ※年代不明の事例を除く
(6月21日～7月29日時点)



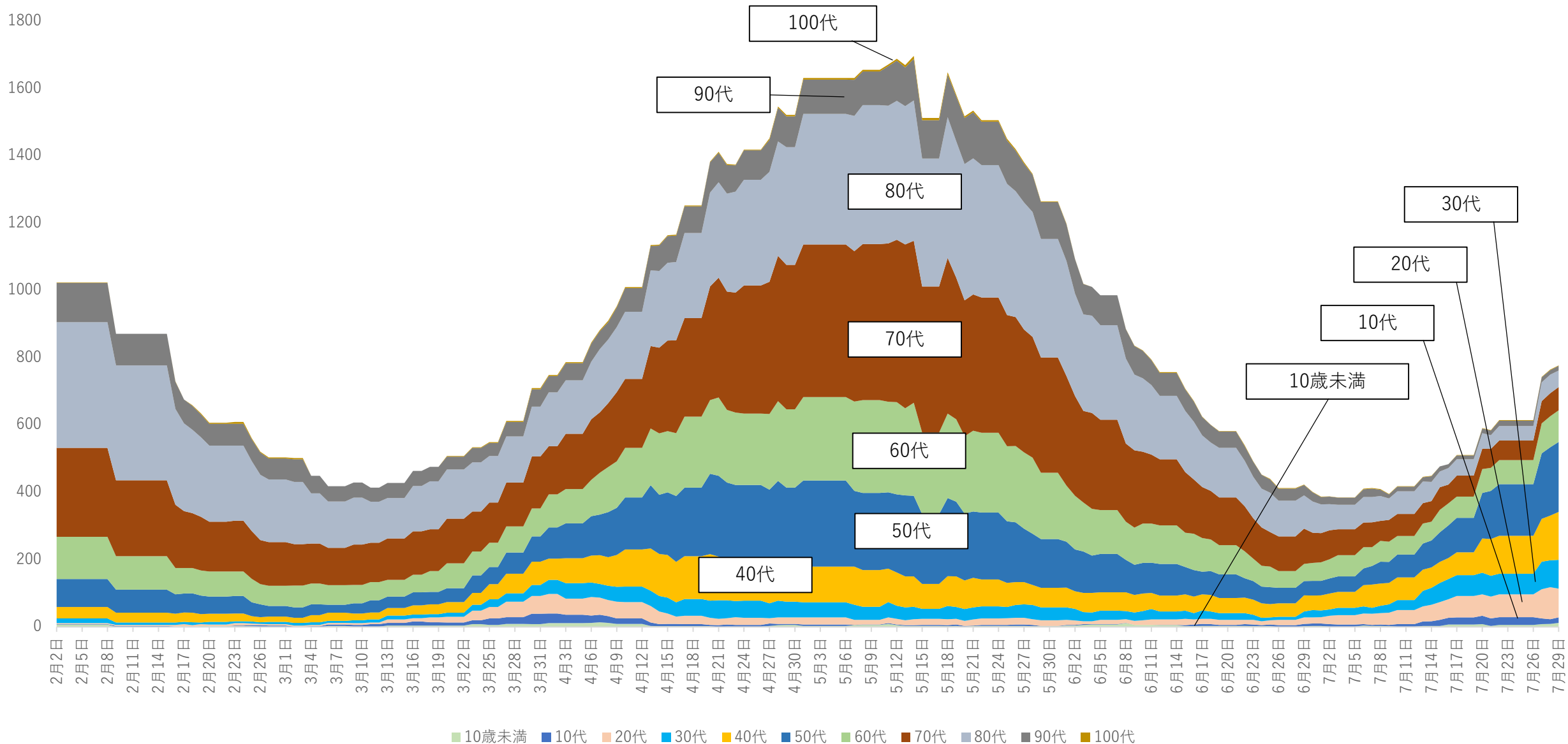
	第三波	第四波	第五波
30代以下の割合	42.7%	47.8%	62.6%
40・50代の割合	27.3%	28.7%	28.2%
60代以上の割合	29.9%	23.5%	8.5%

軽症中等症受入医療機関における入院患者数の年代別割合（7月29日時点）

◆第三波、第四波と比べ、第五波は60代以上の入院患者数の割合が減少。



軽症中等症受入医療機関における年代別の入院患者数（7月29日時点）



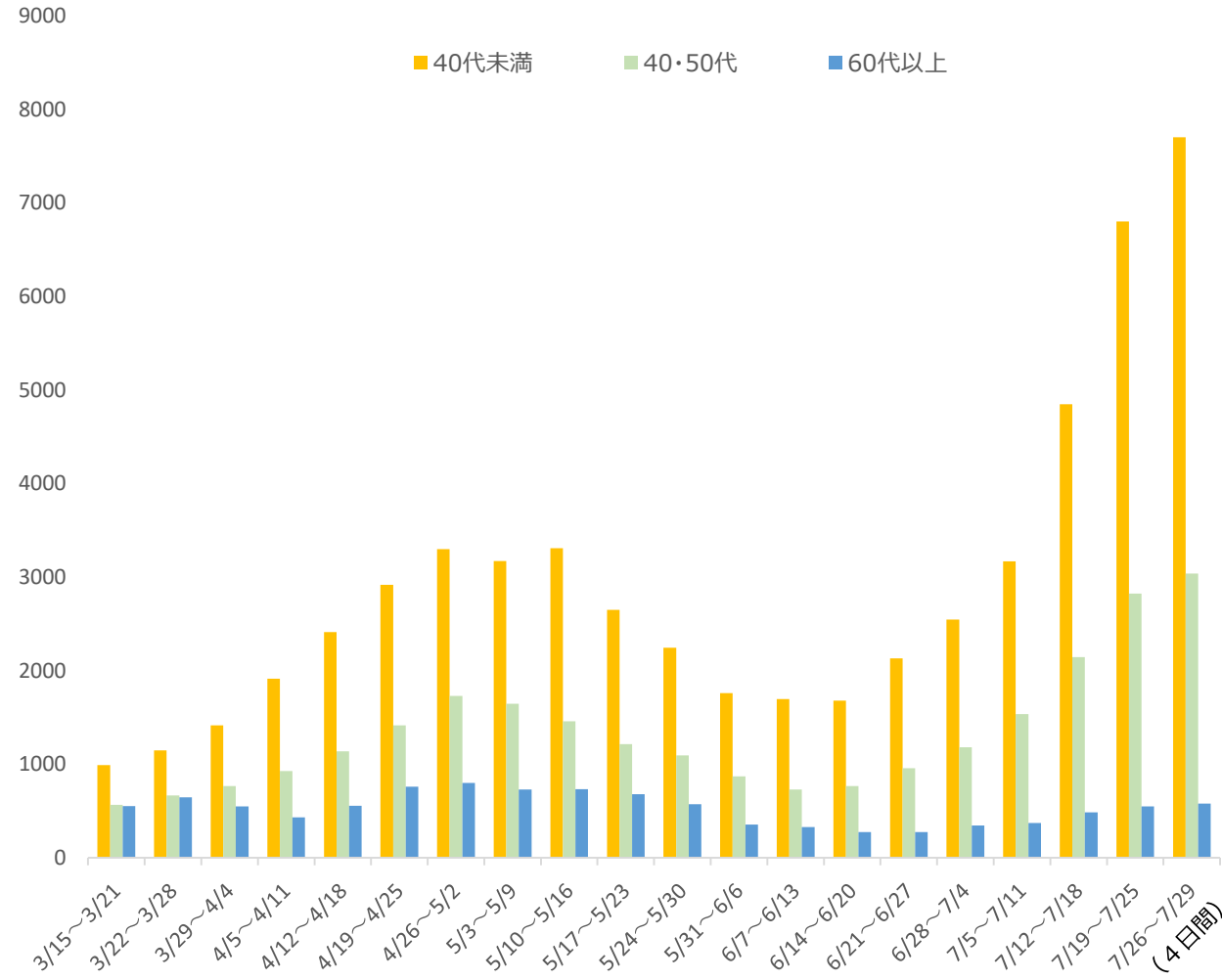
(参考) 東京都の状況

東京都 陽性者の年齢区分の推移（7月29日時点）

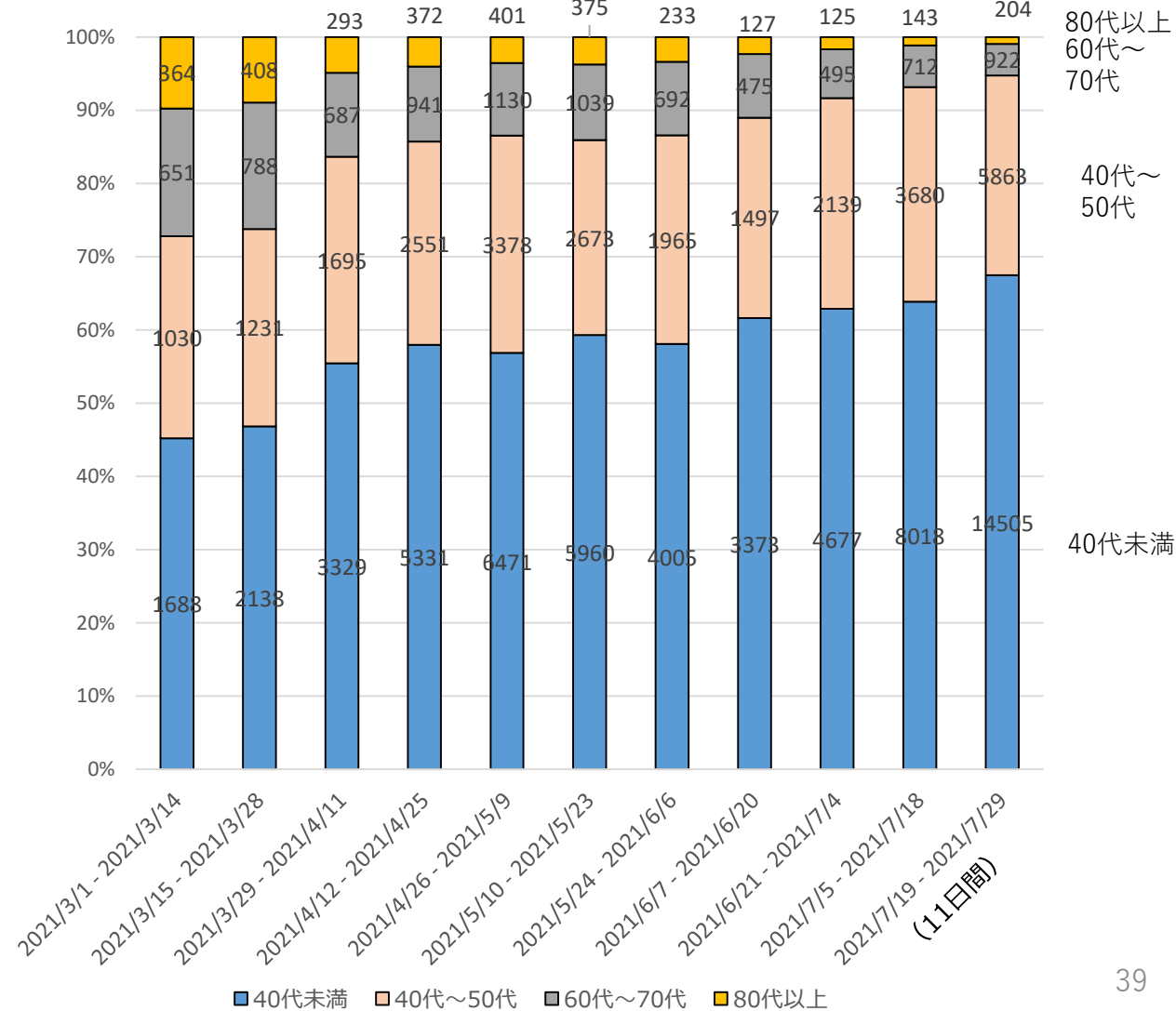
データ出典：東京都ホームページ

◆現時点で、7月は、50代以下の新規陽性者数が増加している一方、60代以上の新規陽性者数は微増にとどまっている。新規陽性者数に占める60代以上の割合も1割を下回っている。

新規陽性者数（年代別）の推移

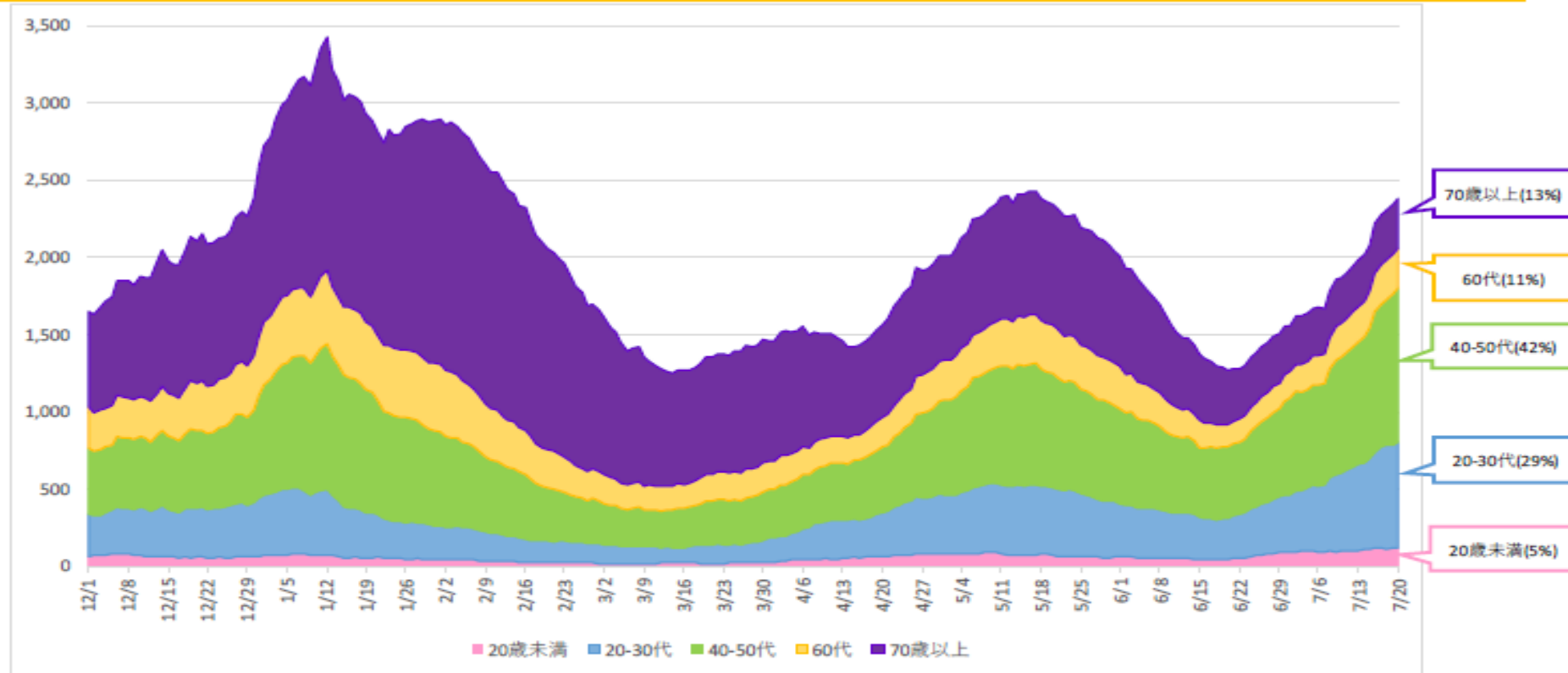


陽性者の年齢区分（東京都 割合、2週間単位）



東京都 入院患者数の年代別内訳

東京都 入院患者数の年代別内訳



日付	12/22火	1/1金	2/1月	3/1月	4/1木	5/1土	6/16水	6/23水	6/30水	7/7水	7/14水	7/20火
入院患者総数	2,093	2,730	2,899	1,663	1,462	2,018	1,346	1,301	1,553	1,673	2,023	2,388
うち60歳以上	1,235	1,556	2,029	1,231	965	948	579	481	481	485	526	573
割合	59%	57%	70%	74%	66%	47%	43%	37%	31%	29%	26%	24%

※年代別の入院患者数は公表日の入院者数の年代別比率を用いて推計

東京都 療養状況 (7月29日時点)

データ出典：東京都ホームページ

